

立地適正化計画

防災指針（案）追加資料

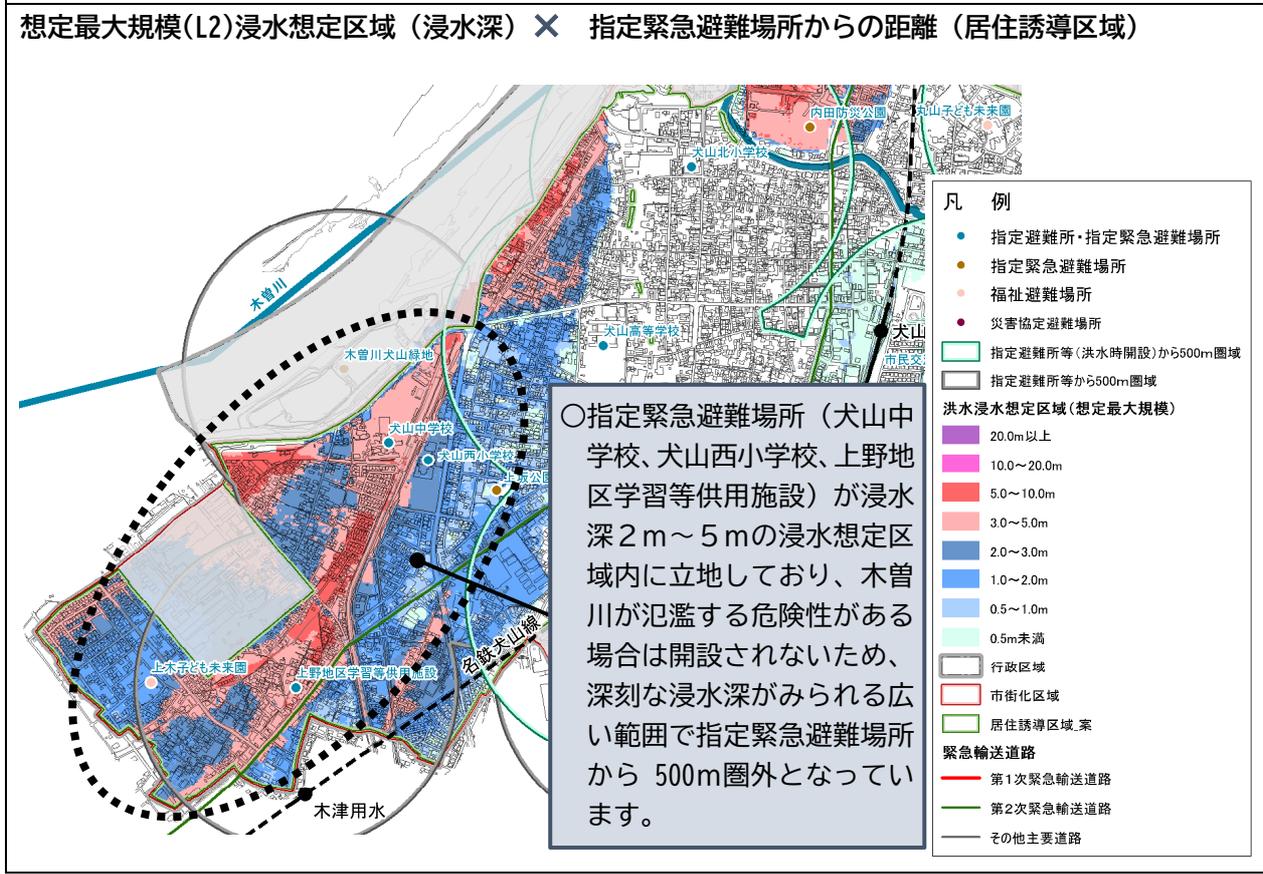
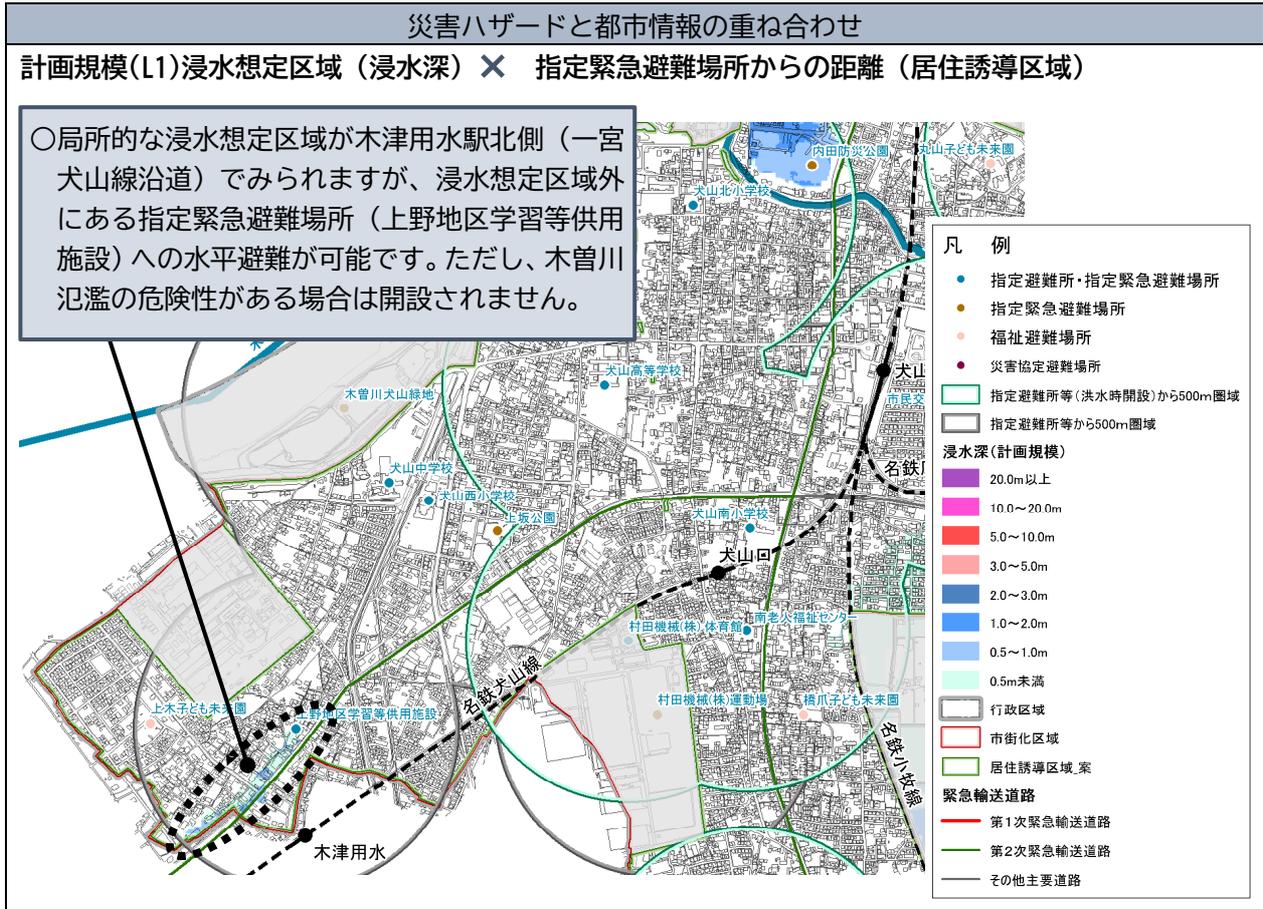
（追加項目）居住誘導区域における災害リスクの分析

近年、激甚化・頻発化する豪雨災害で特に災害リスクの高い洪水、土砂災害におけるハザード情報が重複する地域のうち、居住誘導区域を設定した区域について、次の都市情報を重ねた分析の視点を踏まえた災害リスクを抽出します。

災害ハザード	都市情報	分析の視点
洪水 ・ 浸水想定区域（浸水深）	・ 避難場所 ・ 避難場所からの距離	・ 浸水が想定される指定緊急避難場所を確認 ・ 浸水想定区域から徒歩での避難が可能か確認
	・ 建物分布	・ 垂直避難が困難で立ち退き避難が必要となる建物を確認 ※垂直避難が困難な住宅： 浸水深 0.5m以上の平屋建て住宅 浸水深 3.0m以上の2階建て住宅
洪水 ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食・氾濫流）	・ 建物分布	・ 河岸侵食又は氾濫流により家屋倒壊のおそれがある建物を確認
土砂災害 ・ 急傾斜地崩壊危険区域 ・ 土砂災害特別警戒区域 ・ 土砂災害警戒区域	・ 建物分布	・ 土砂災害が懸念される区域内に分布する建物を確認

■居住誘導区域における災害リスクの抽出

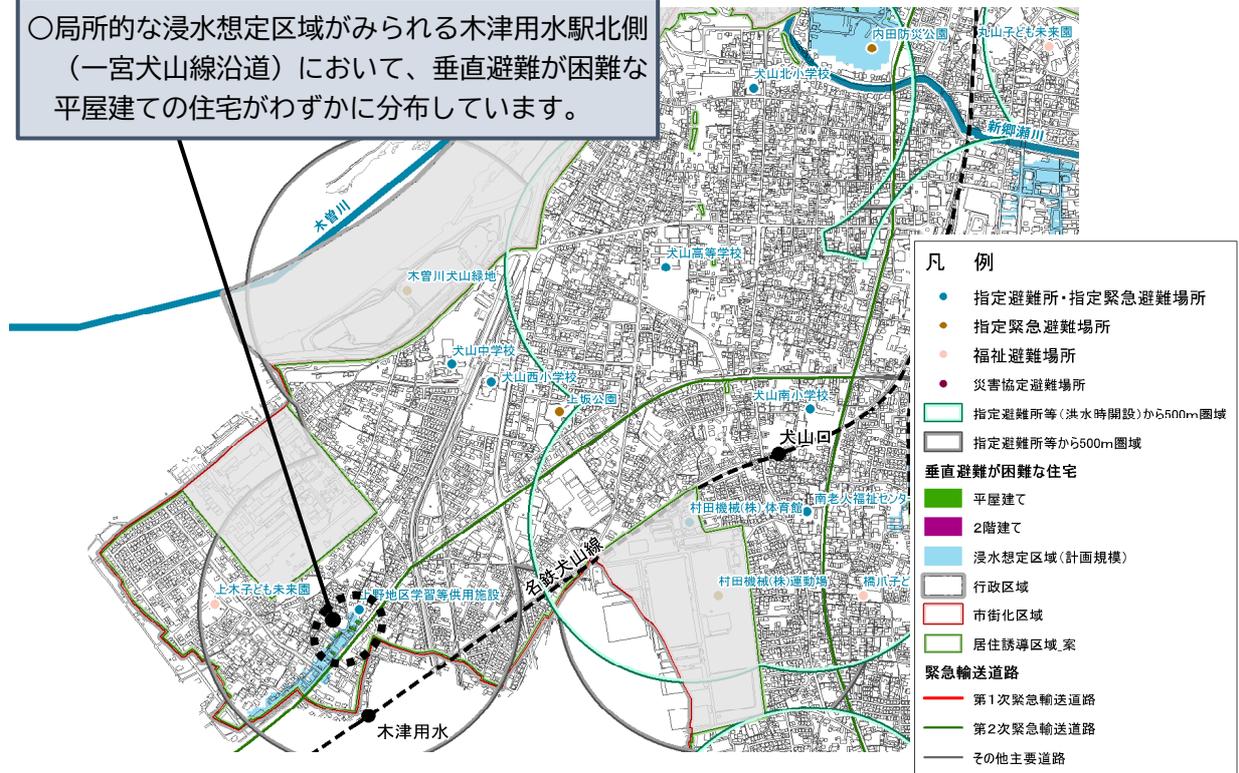
【犬山地区 A】



災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

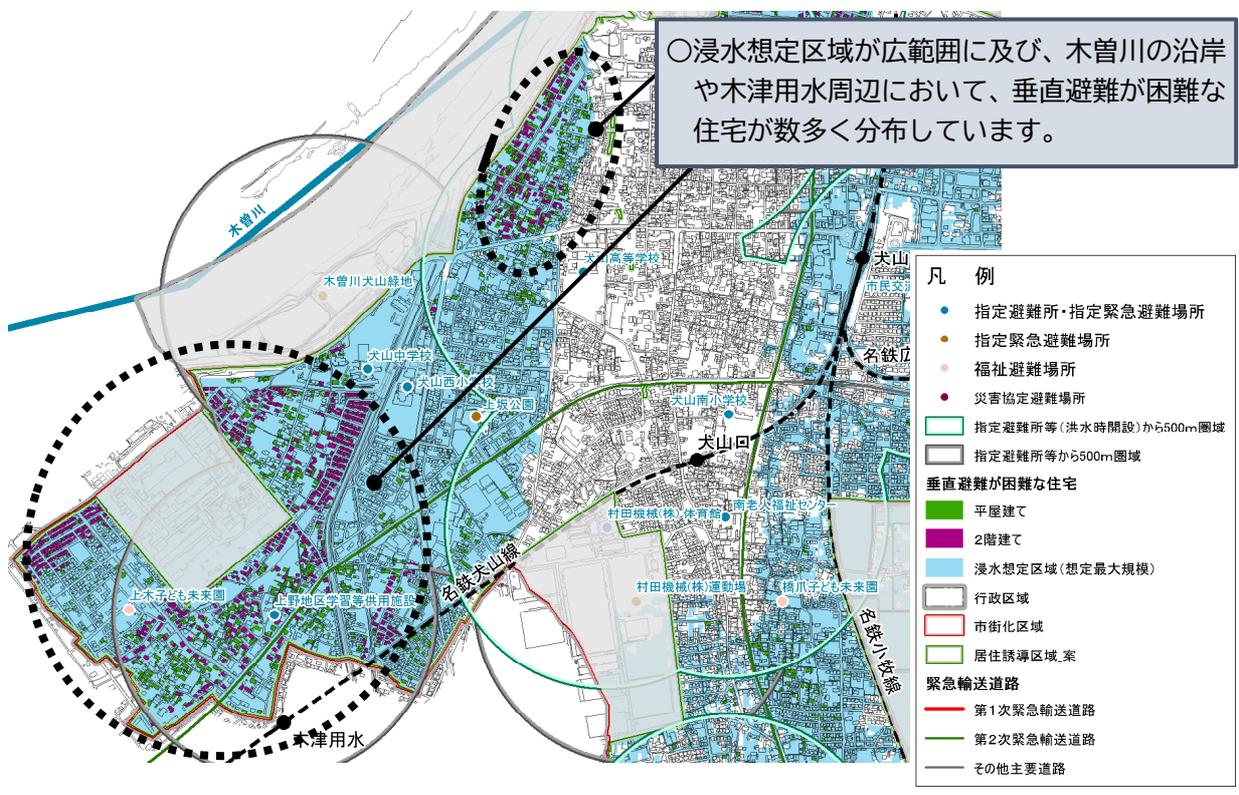
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

○局所的な浸水想定区域がみられる木津用水駅北側（一宮犬山線沿道）において、垂直避難が困難な平屋建ての住宅がわずかに分布しています。



想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

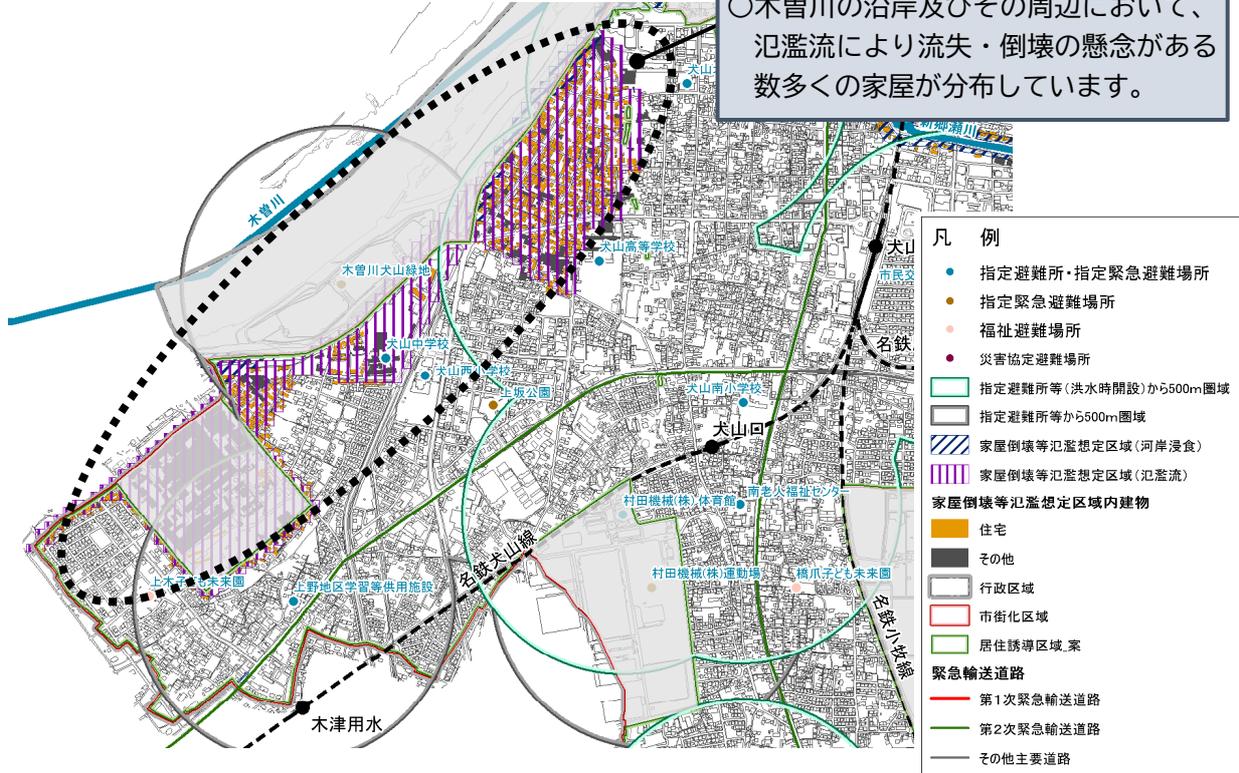
○浸水想定区域が広範囲に及び、木曽川の沿岸や木津用水周辺において、垂直避難が困難な住宅が数多く分布しています。



災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

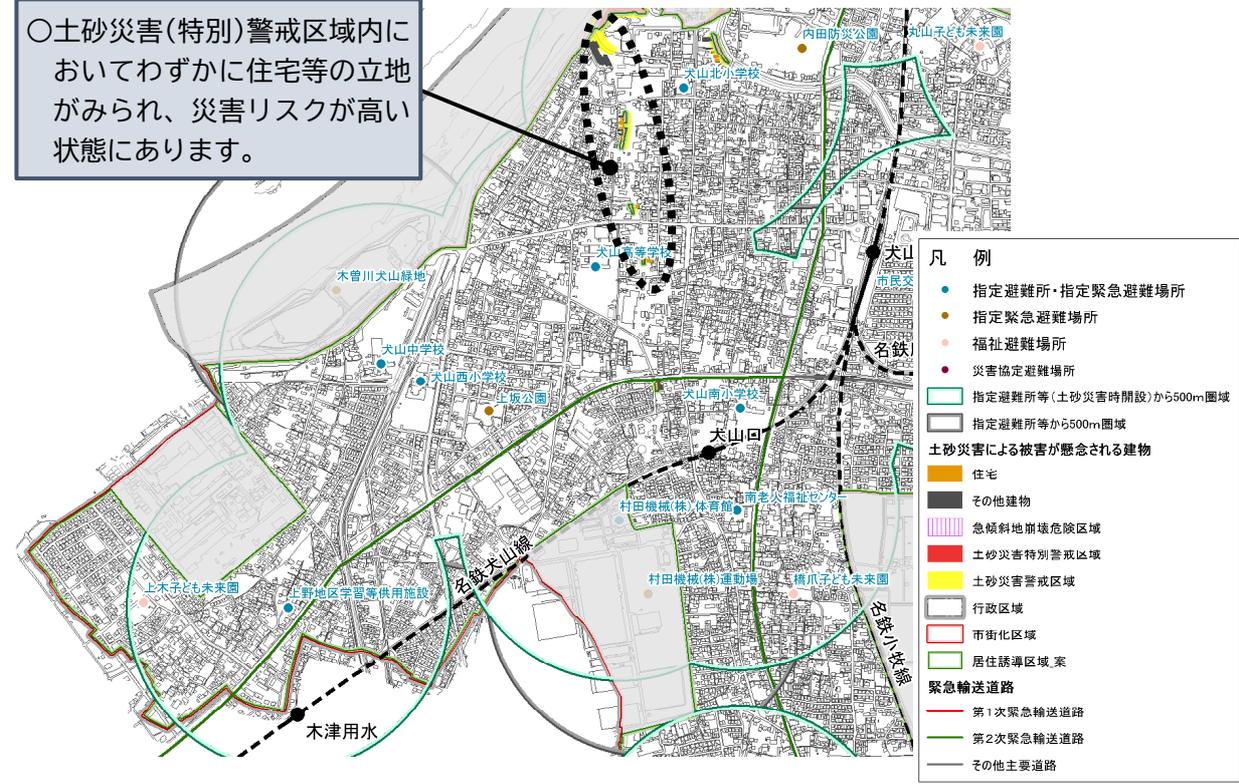
想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

○木曾川の沿岸及びその周辺において、氾濫流により流失・倒壊の懸念がある数多くの家屋が分布しています。



土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

○土砂災害(特別)警戒区域内においてわずかに住宅等の立地がみられ、災害リスクが高い状態にあります。

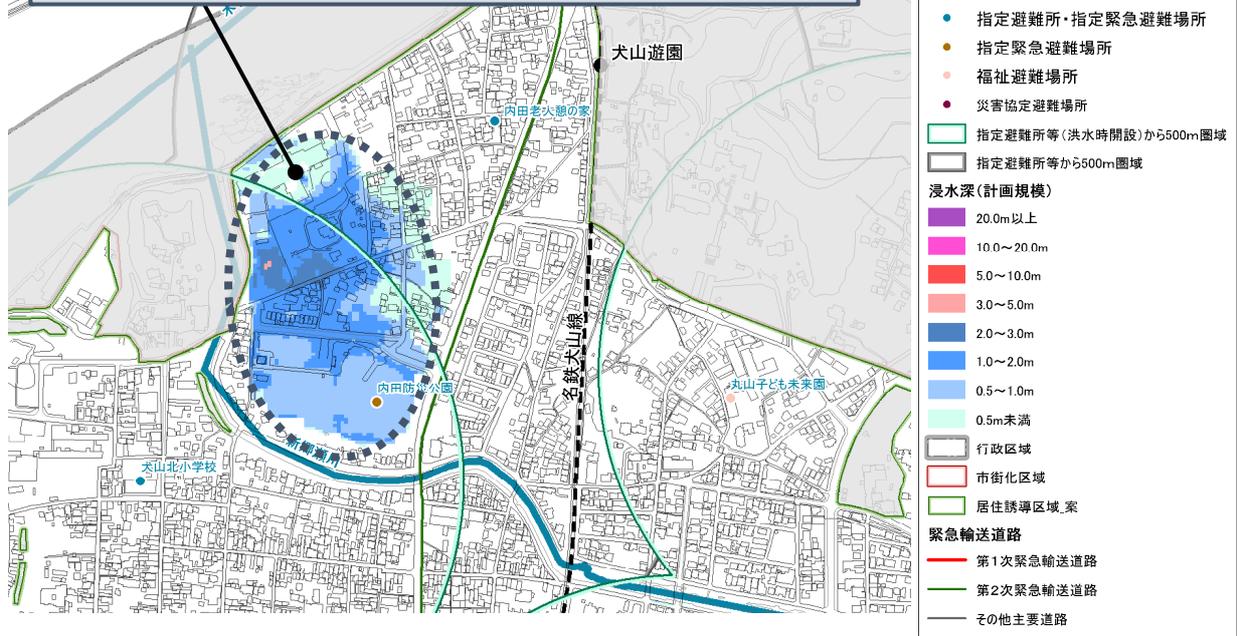


【犬山地区B】

災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

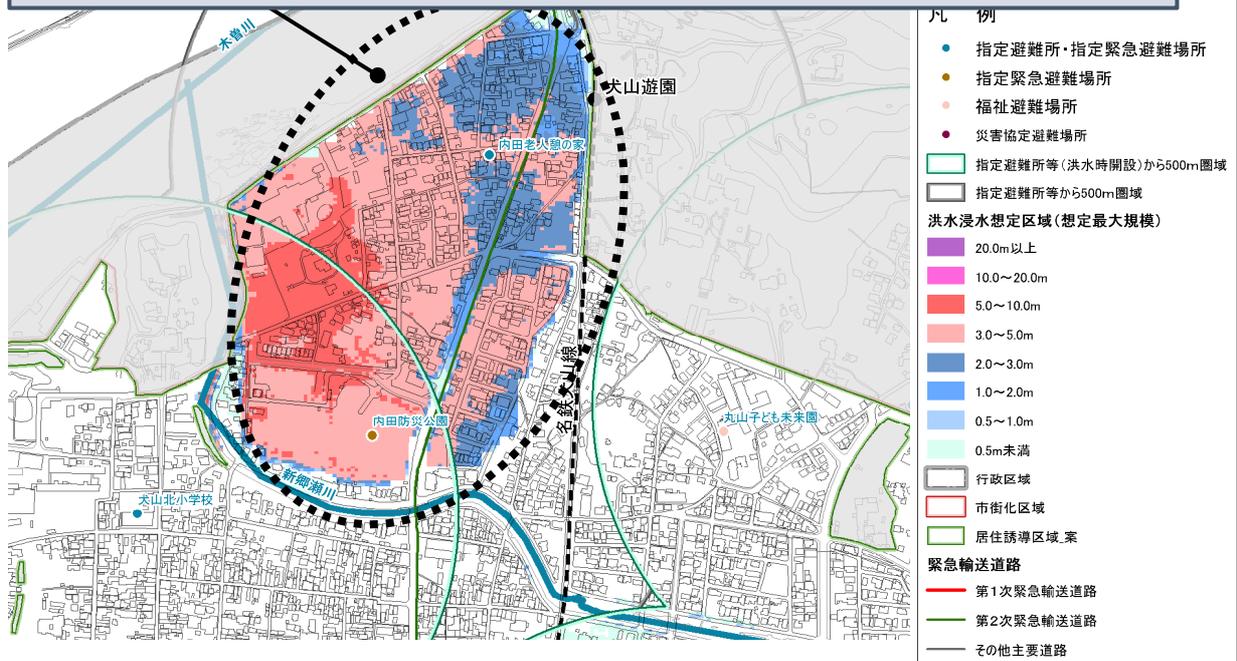
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水深1 m以上の浸水想定区域内がみられますが、浸水想定区域外の指定緊急避難場所への水平避難が可能です。ただし、内田老人憩いの家は、木曾川氾濫の危険性がある場合は開設されません。



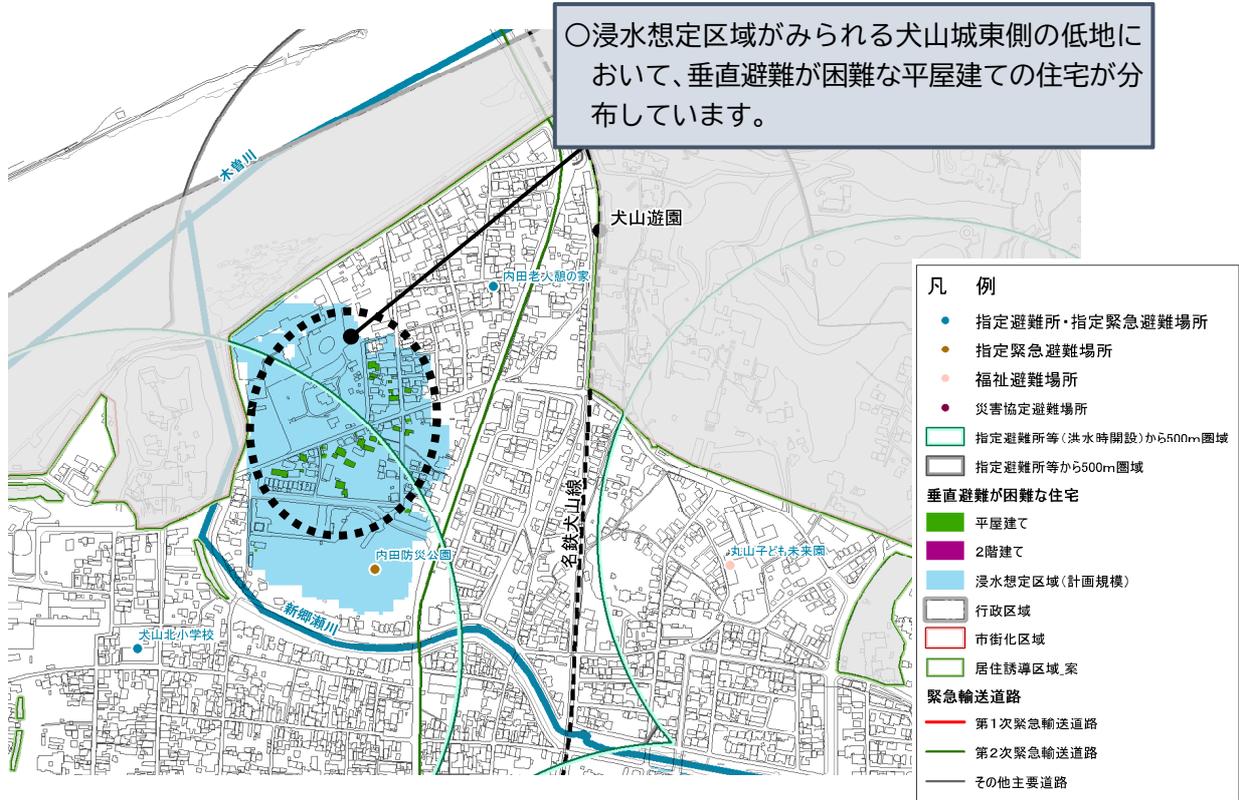
想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○指定緊急避難場所（内田老人憩いの家）が浸水深3 m以上の浸水想定区域内に立地しており、木曾川が氾濫する危険性がある場合は開設されないため、深刻な浸水深がみられる広い範囲で指定緊急避難場所から500m圏外となっています。

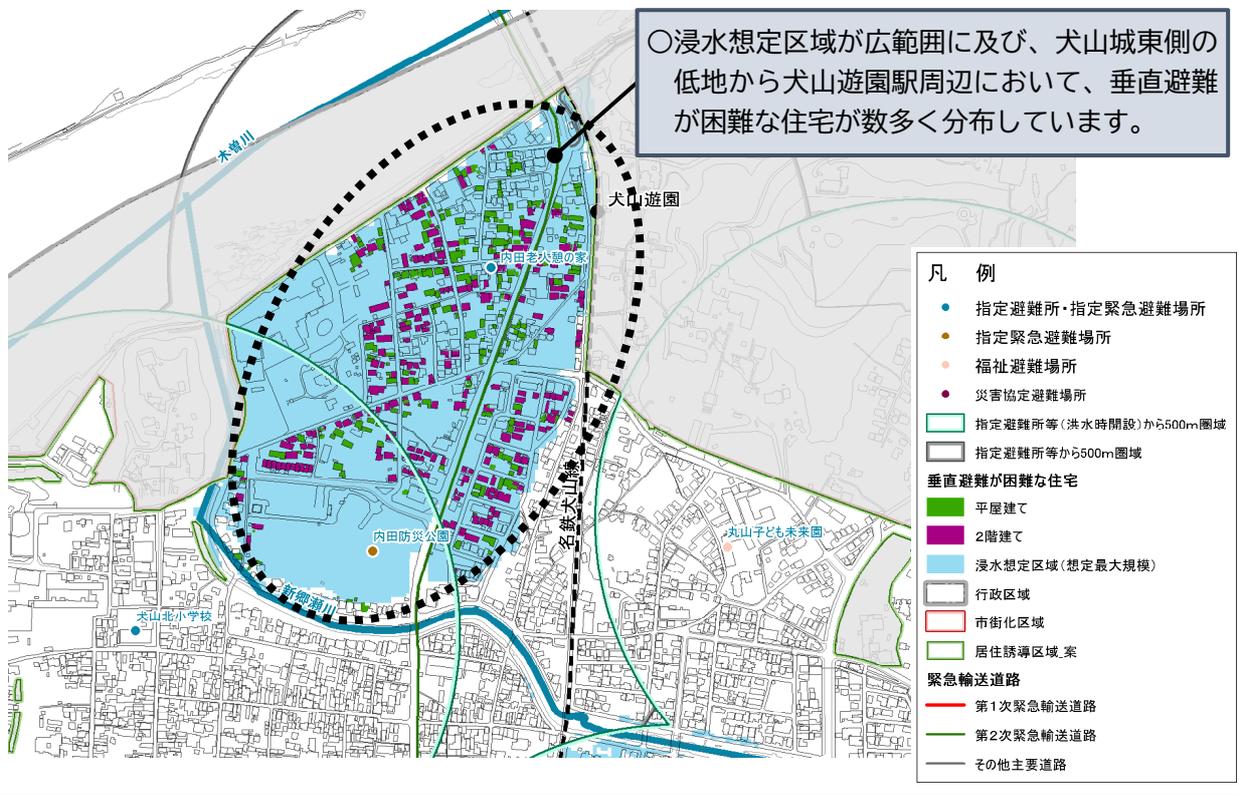


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

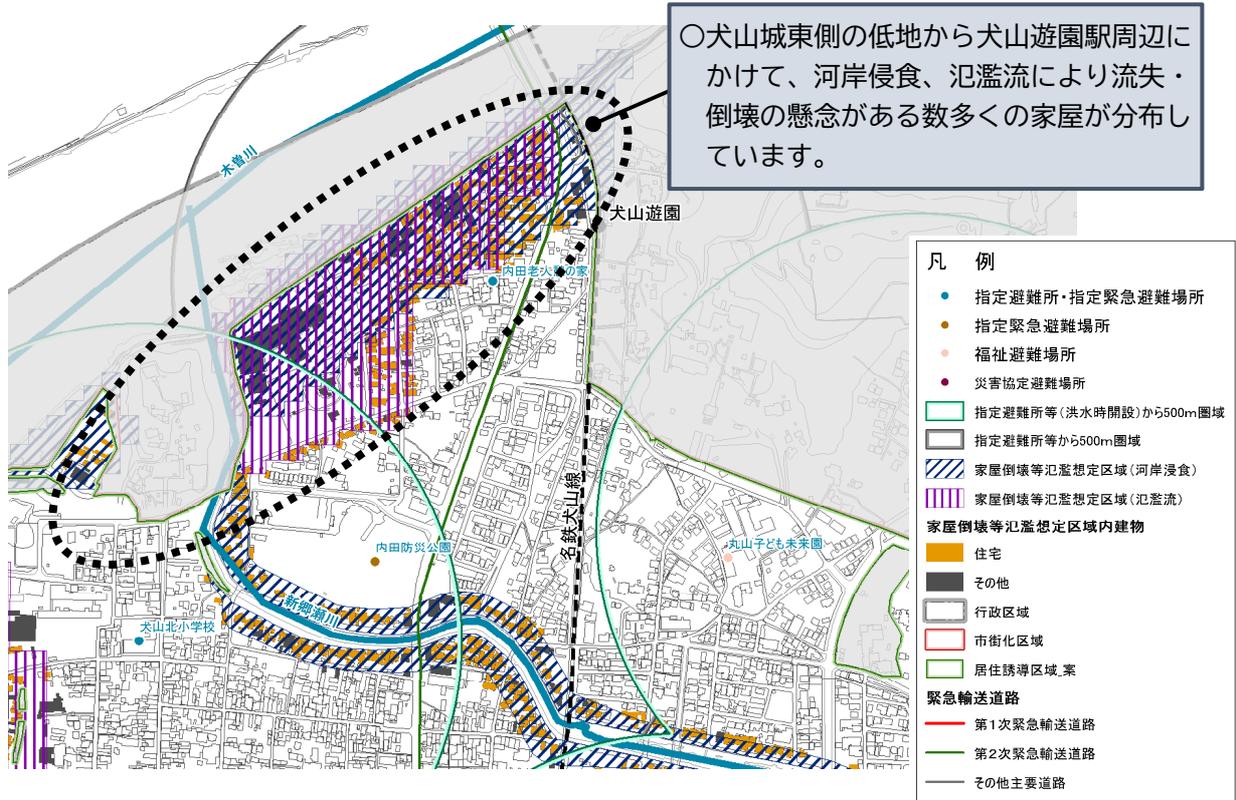


想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

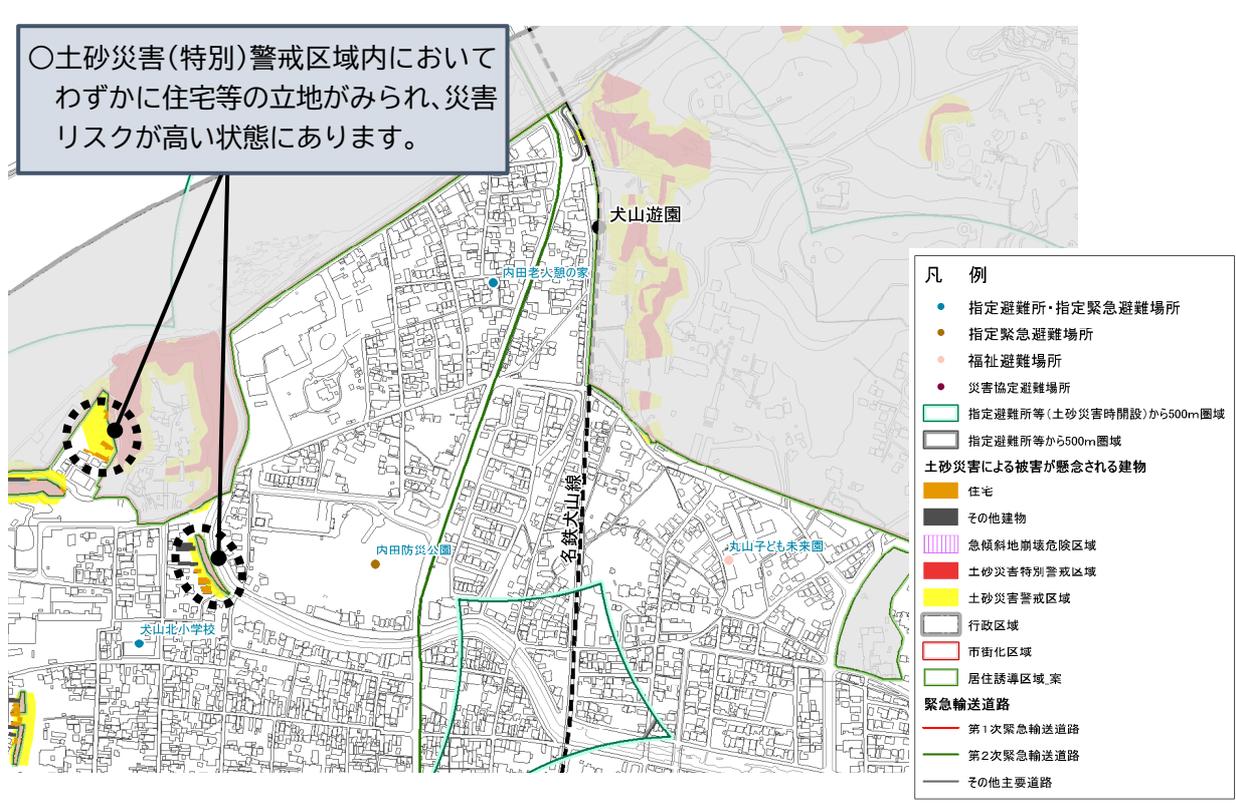


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)



土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

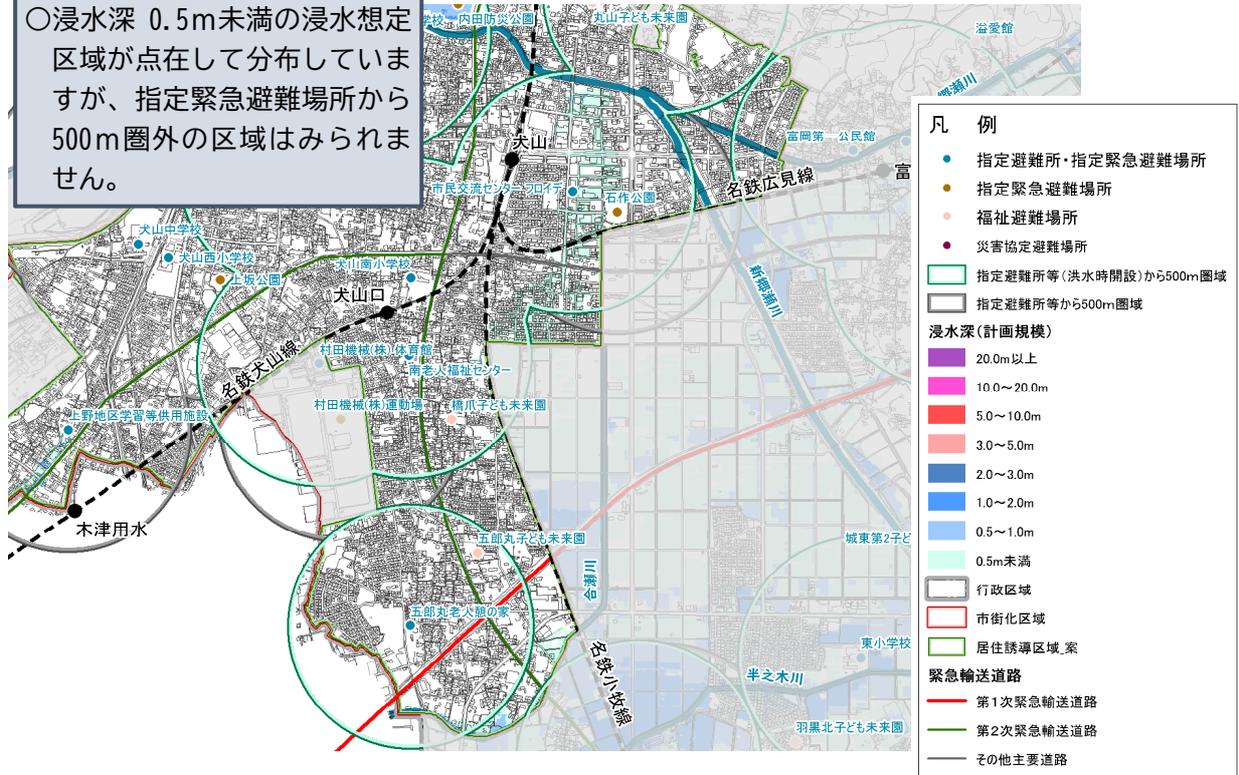


【犬山地区C】

災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

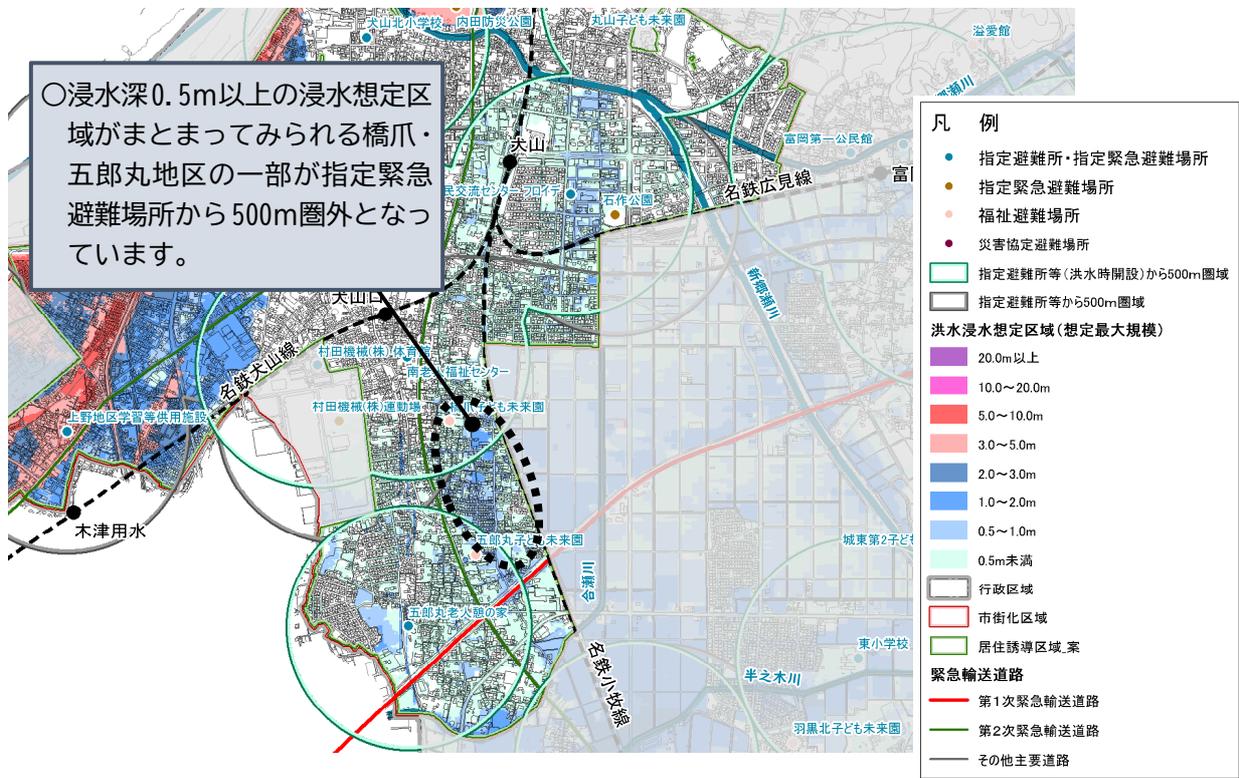
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水深 0.5m未満の浸水想定区域が点在して分布していますが、指定緊急避難場所から500m圏外の区域はみられません。



想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

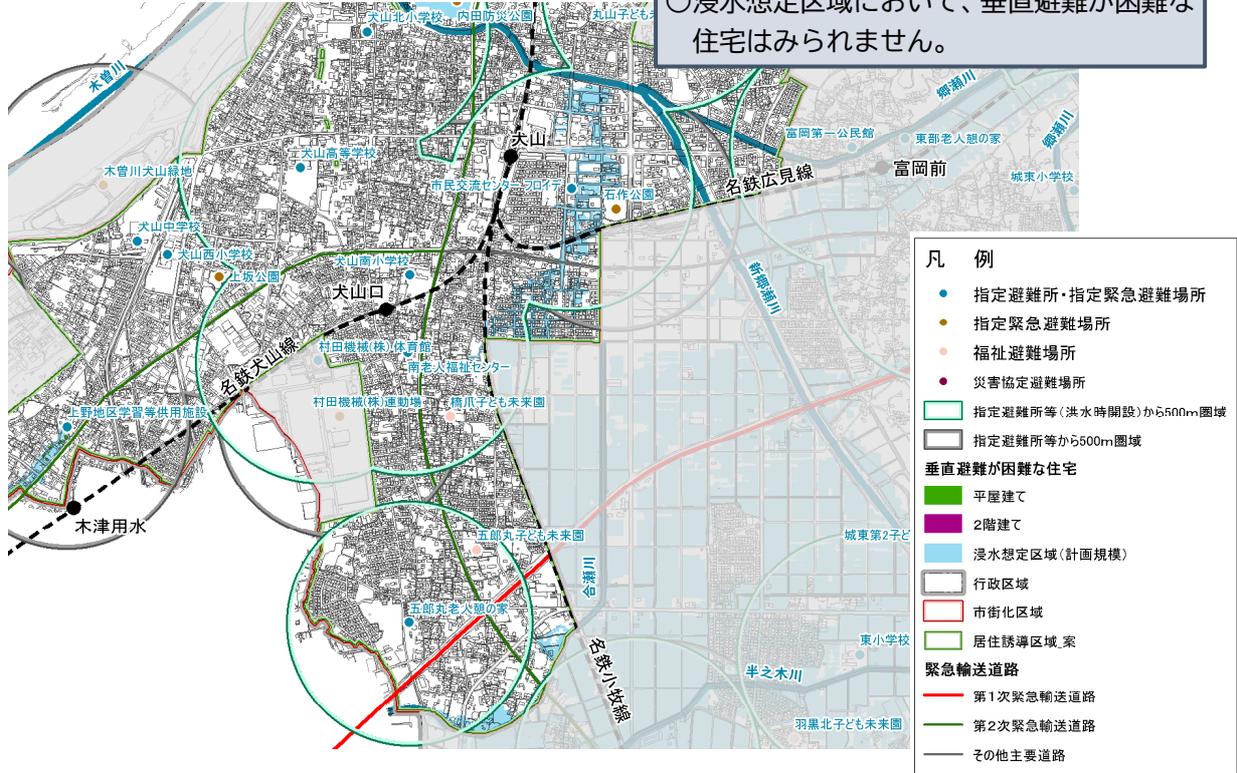
○浸水深0.5m以上の浸水想定区域がまとってみられる橋爪・五郎丸地区の一部が指定緊急避難場所から500m圏外となっています。



災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

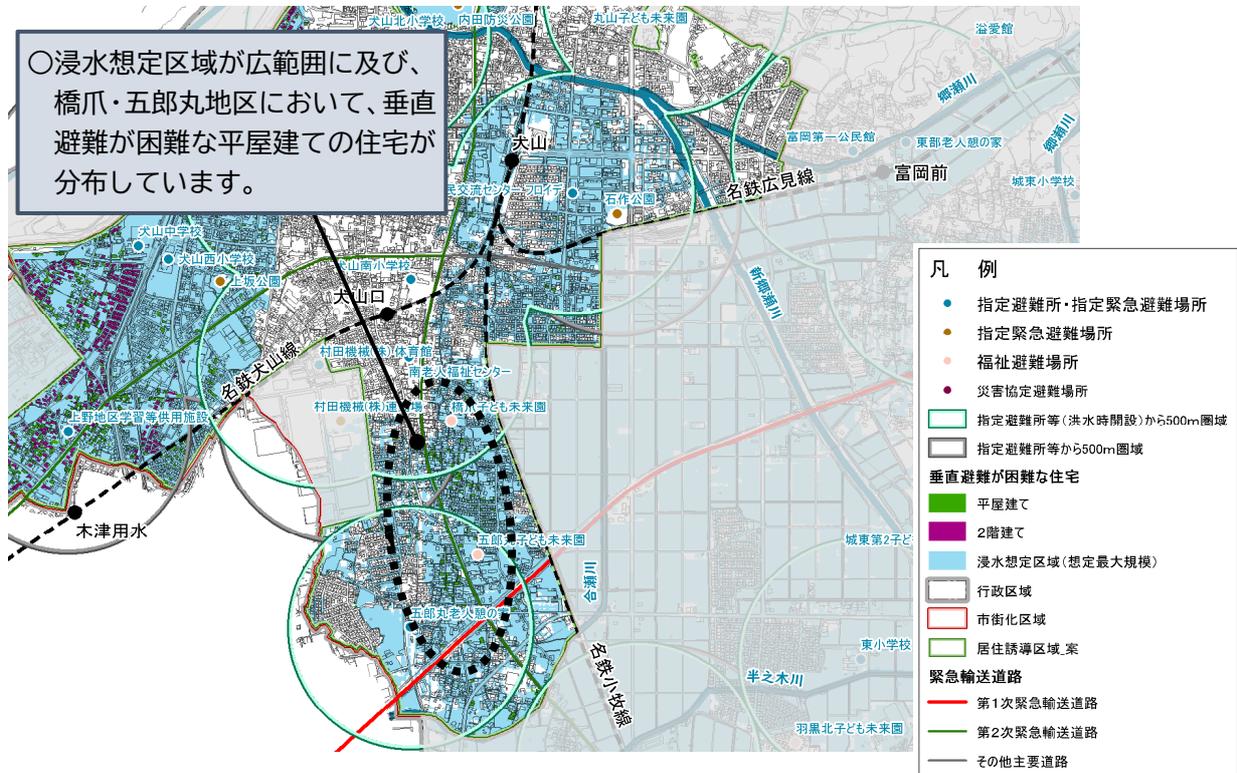
計画規模(L1)浸水想定区域(浸水深) × 建物分布(居住誘導区域)

○浸水想定区域において、垂直避難が困難な住宅はみられません。



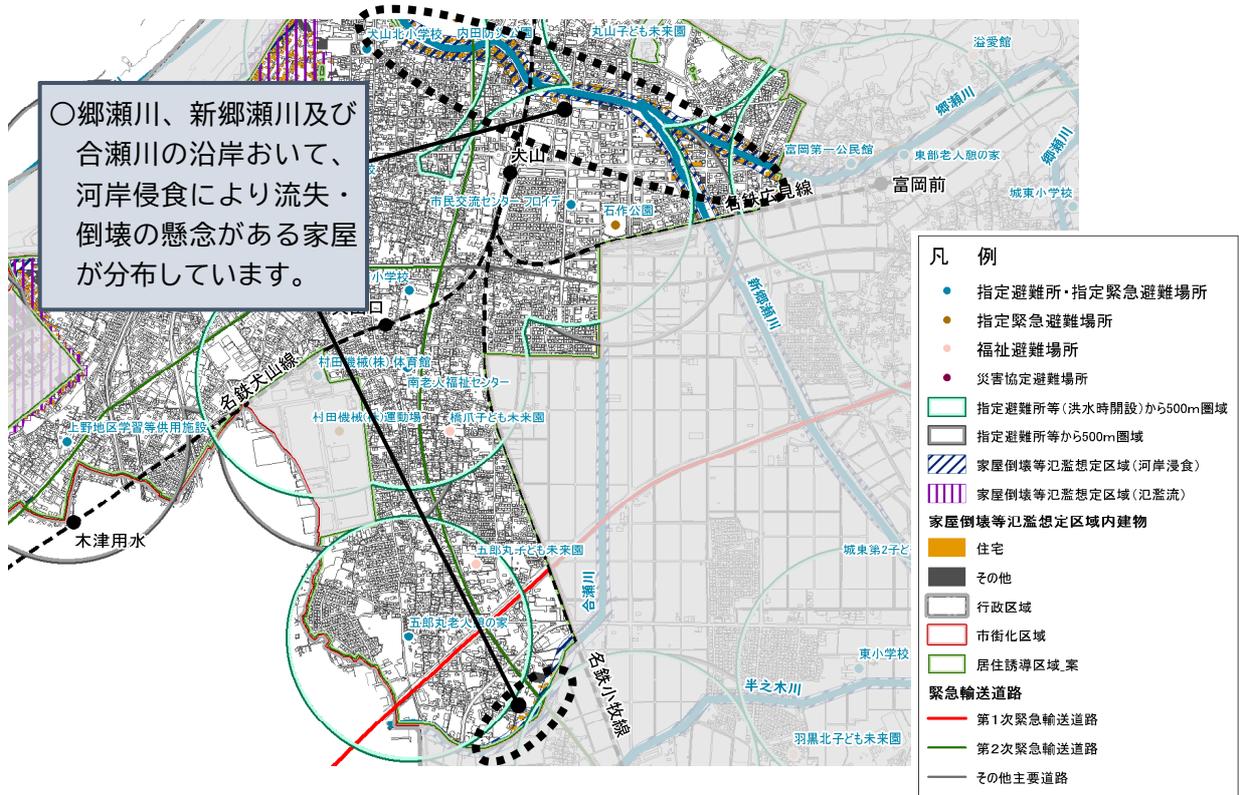
想定最大規模(L2)浸水想定区域(浸水深) × 建物分布(居住誘導区域)

○浸水想定区域が広範囲に及び、橋爪・五郎丸地区において、垂直避難が困難な平屋建ての住宅が分布しています。

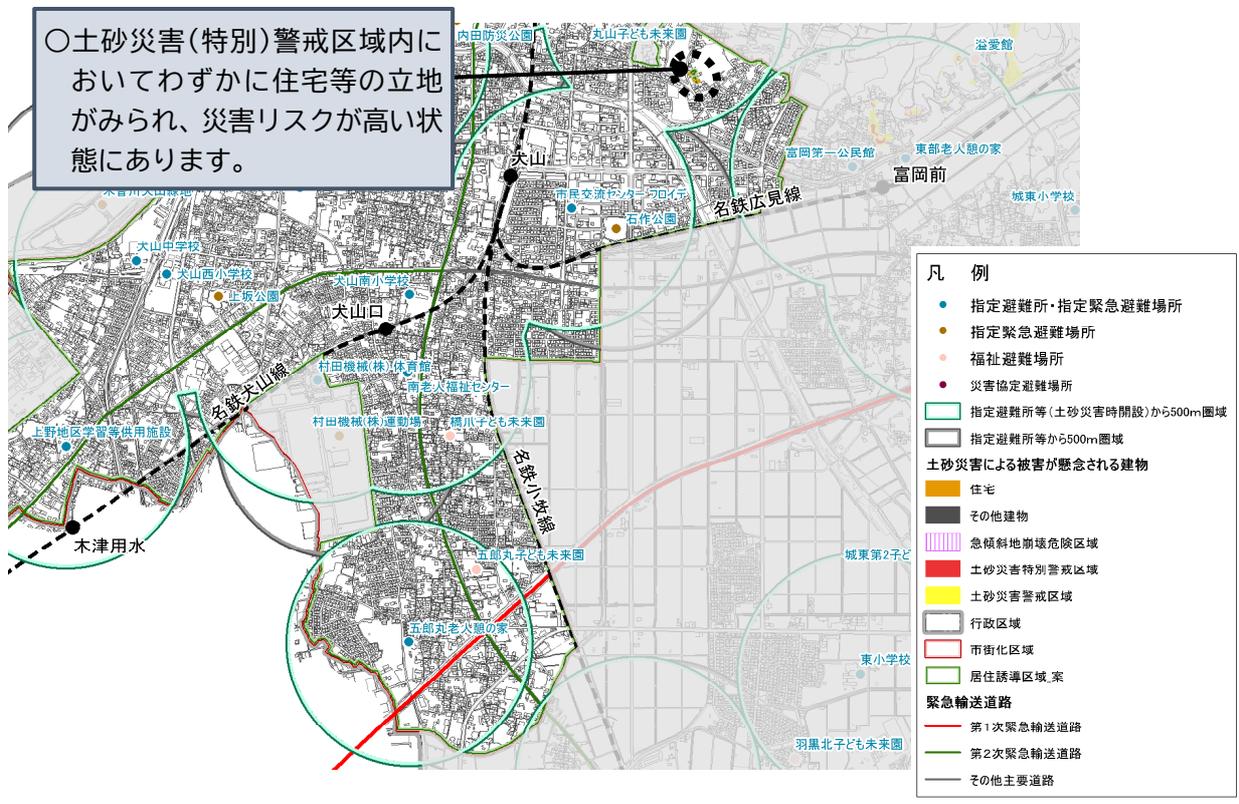


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)



土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

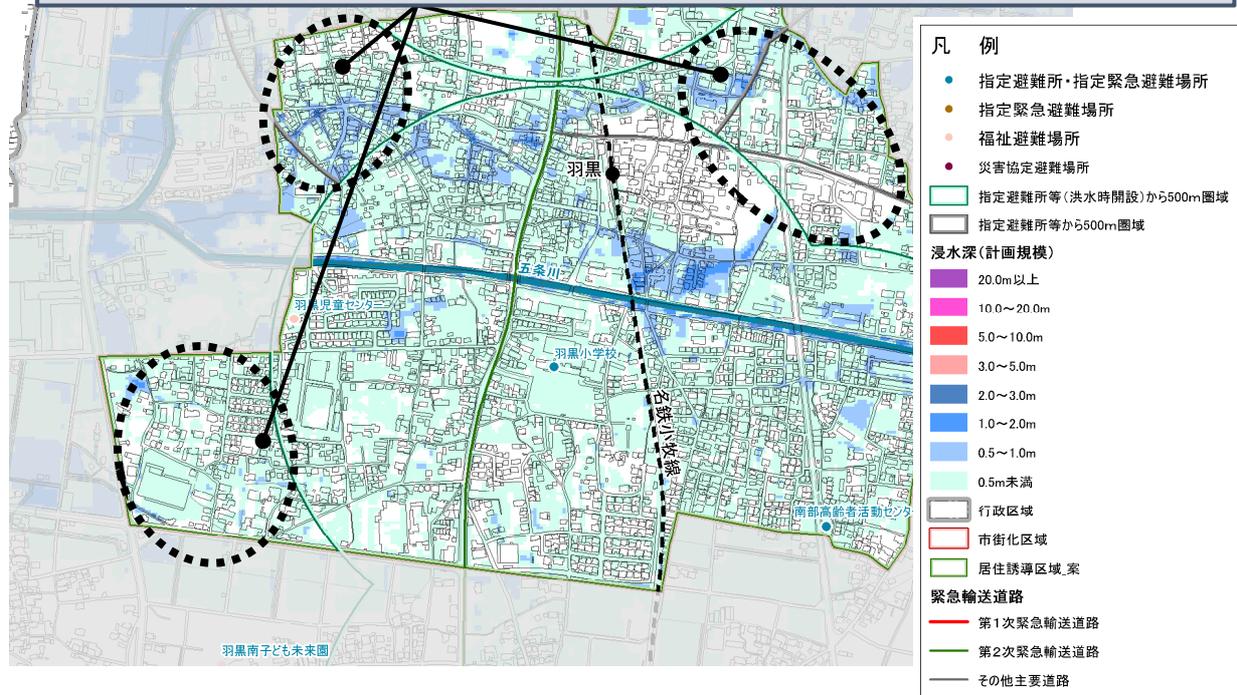


【羽黒地区】

災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

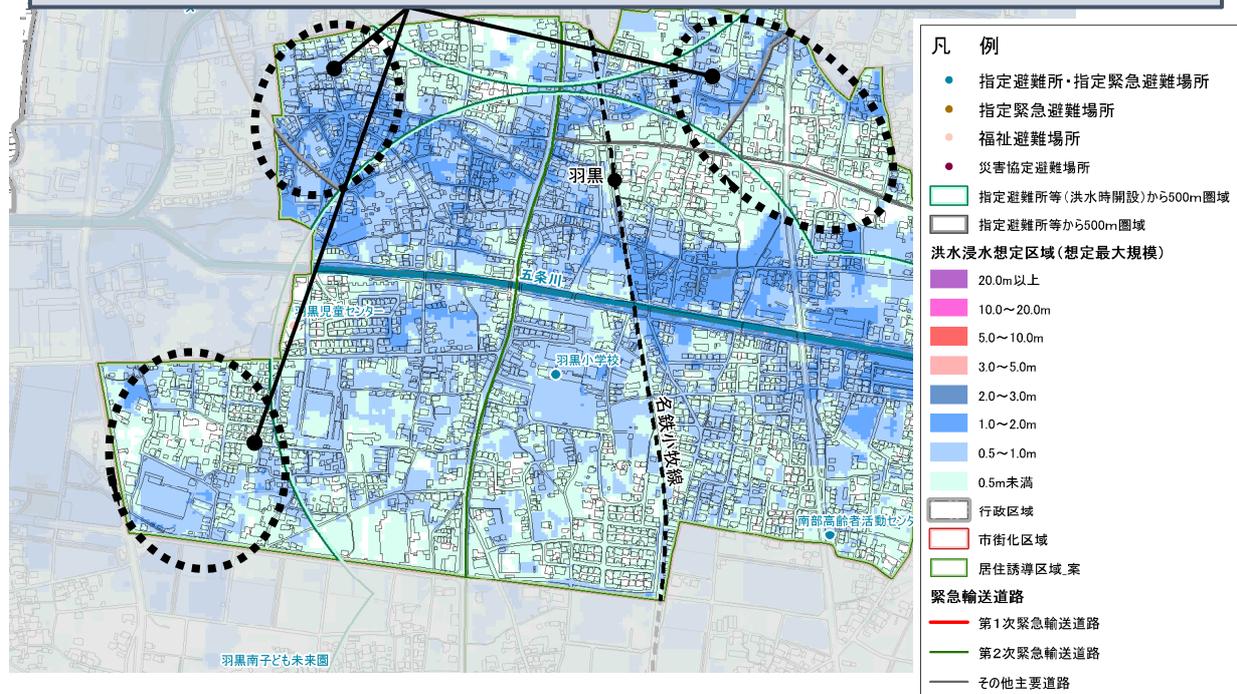
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水深 0.5m未満の浸水想定区域がほぼ全域に及び、一部の区域では指定緊急避難場所から 500m圏外となっています。また、指定緊急避難場所が浸水想定区域に立地しています。



想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

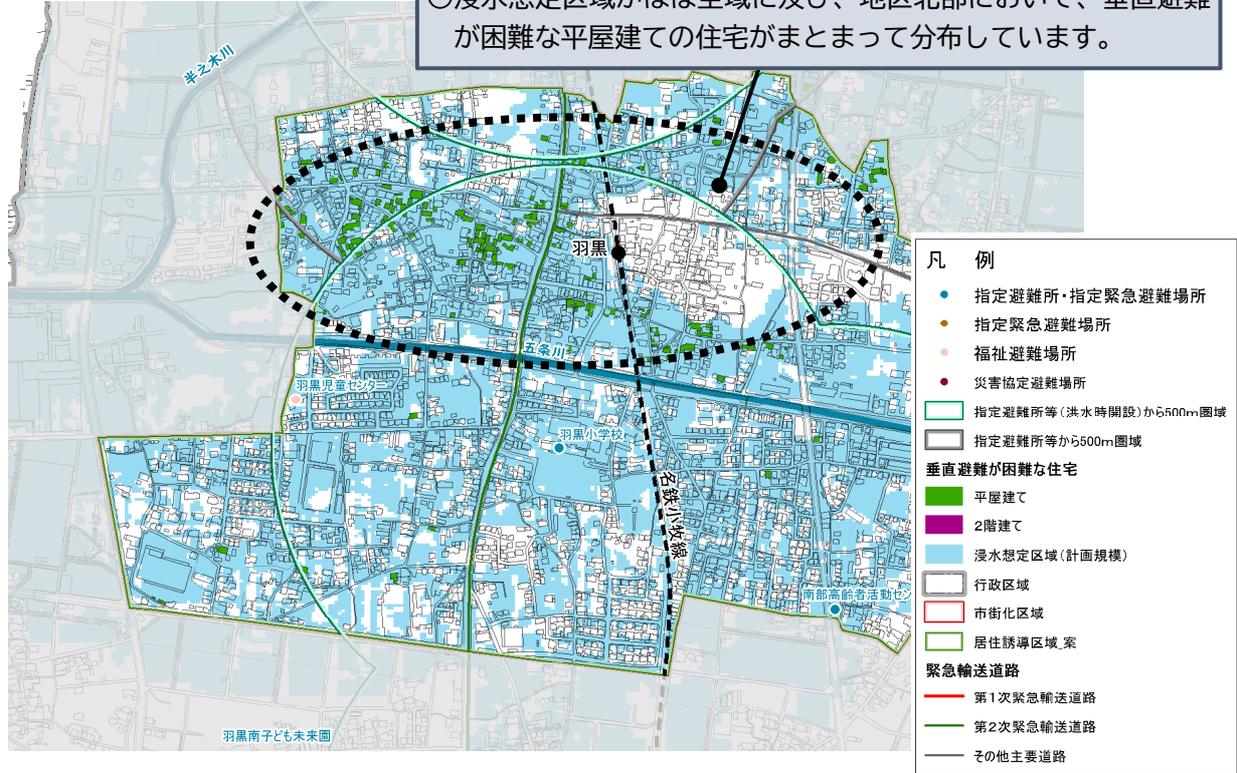
○浸水深 0.5m以上の浸水想定区域がほぼ全域に及び、一部の区域では指定緊急避難場所から 500m圏外となっています。また、指定緊急避難場所が浸水想定区域に立地しています。



災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

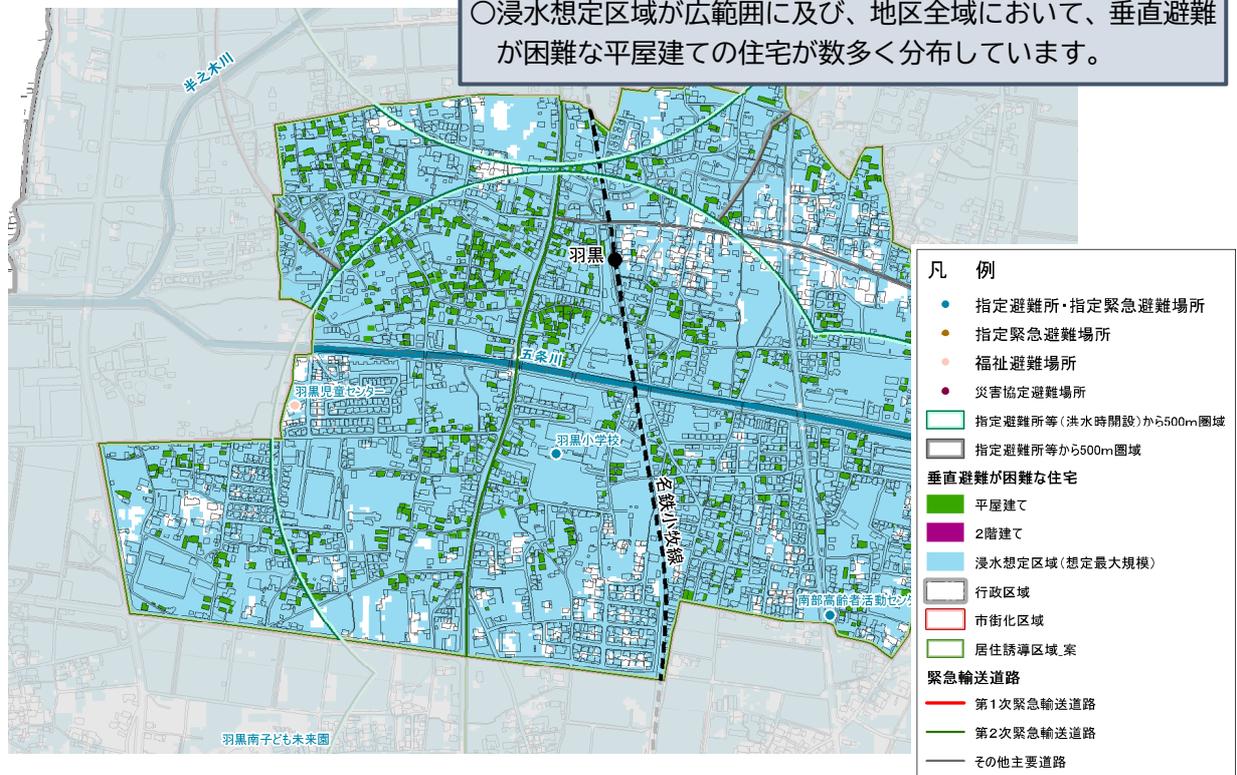
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

○浸水想定区域がほぼ全域に及び、地区北部において、垂直避難が困難な平屋建ての住宅がまとまって分布しています。



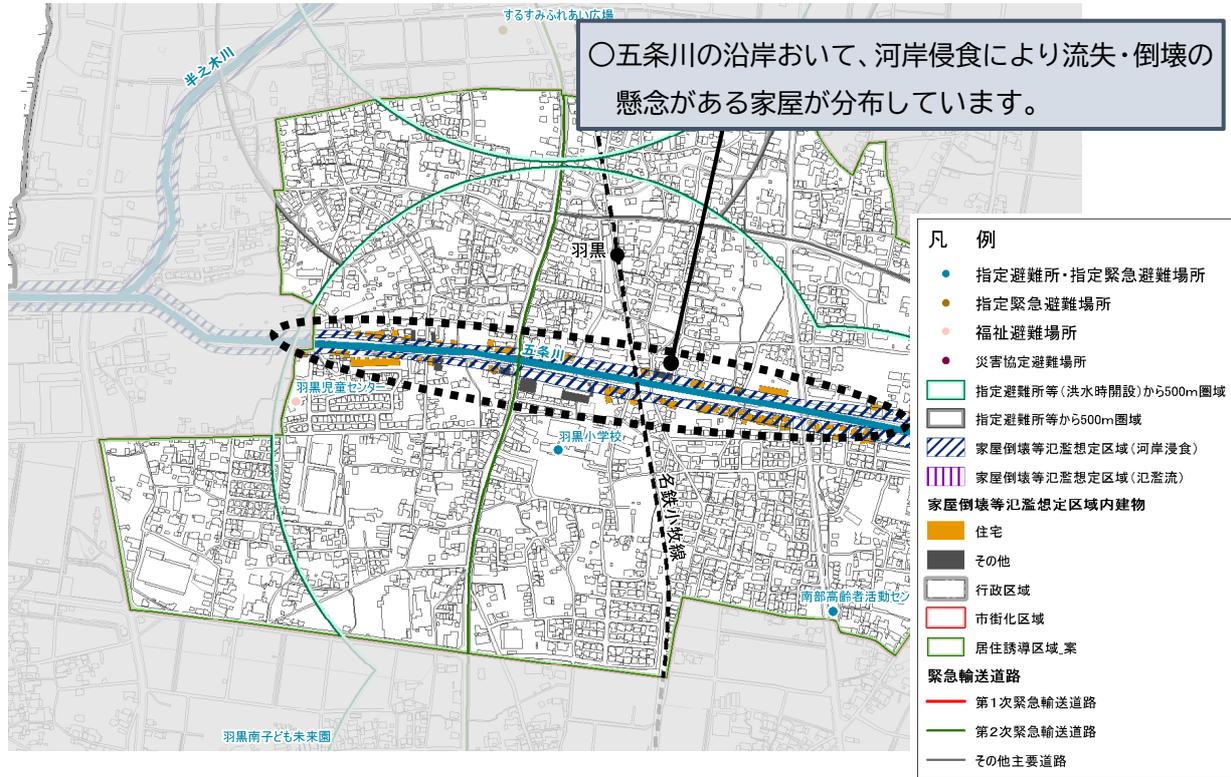
想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

○浸水想定区域が広範囲に及び、地区全域において、垂直避難が困難な平屋建ての住宅が数多く分布しています。

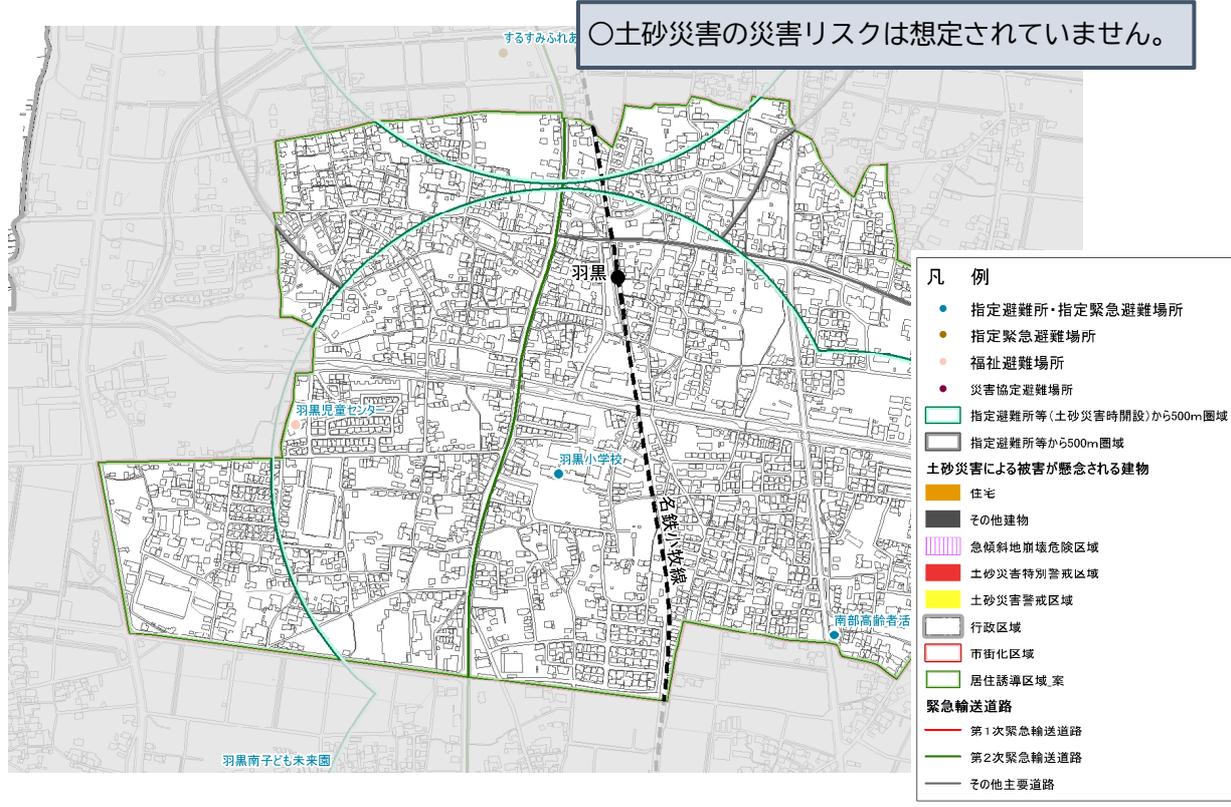


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)



土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

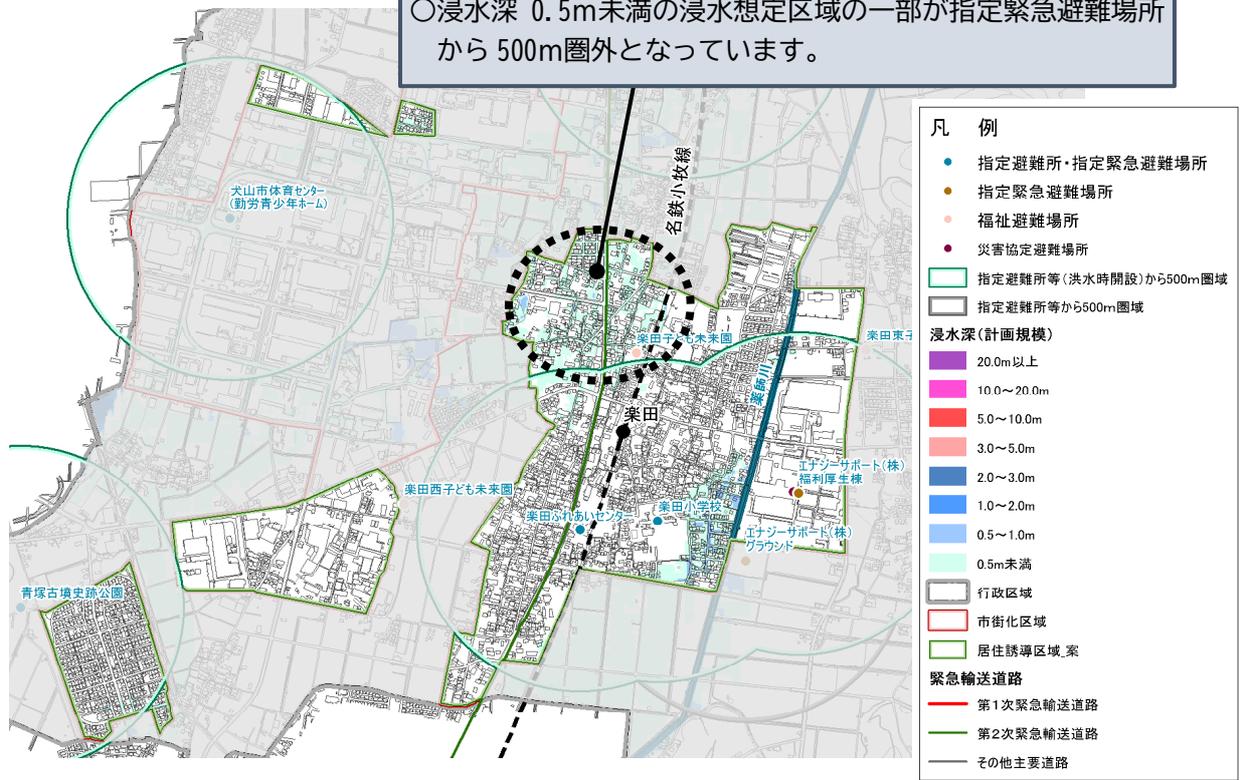


【楽田地区】

災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

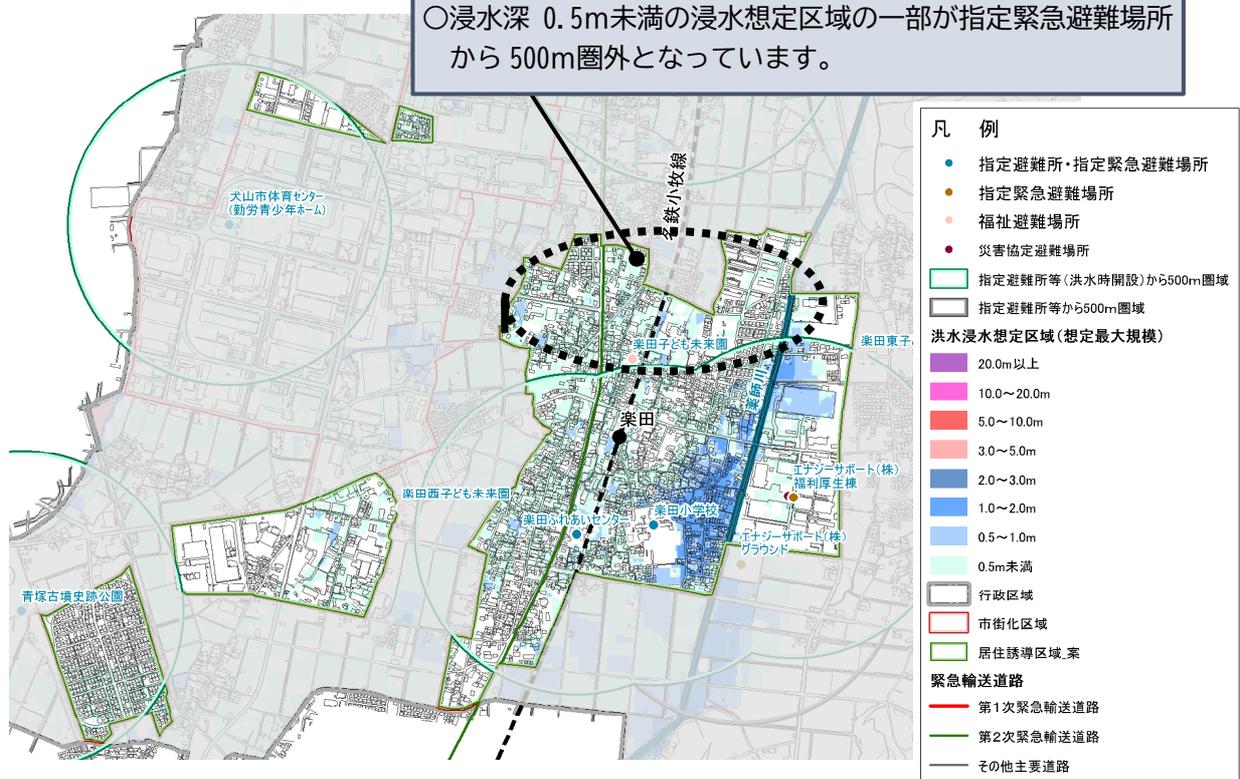
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水深 0.5m未満の浸水想定区域の一部が指定緊急避難場所から500m圏外となっています。



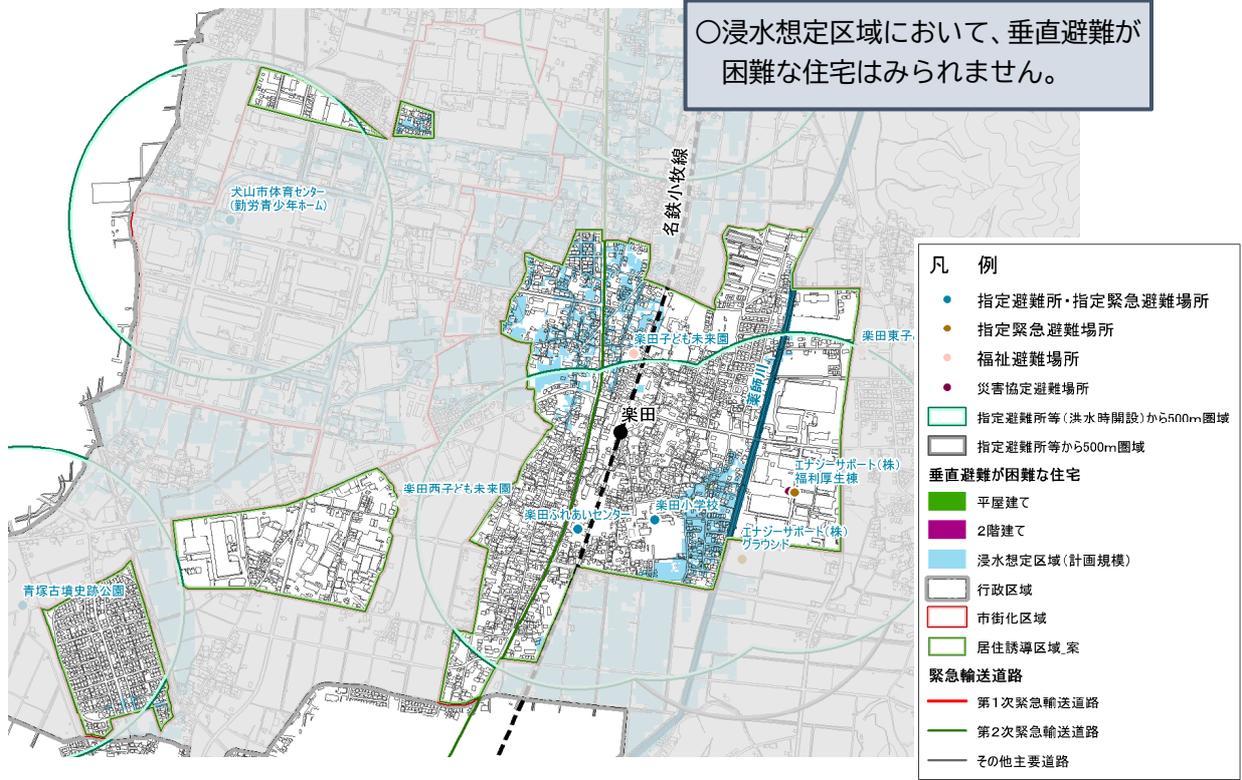
想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水深 0.5m未満の浸水想定区域の一部が指定緊急避難場所から500m圏外となっています。

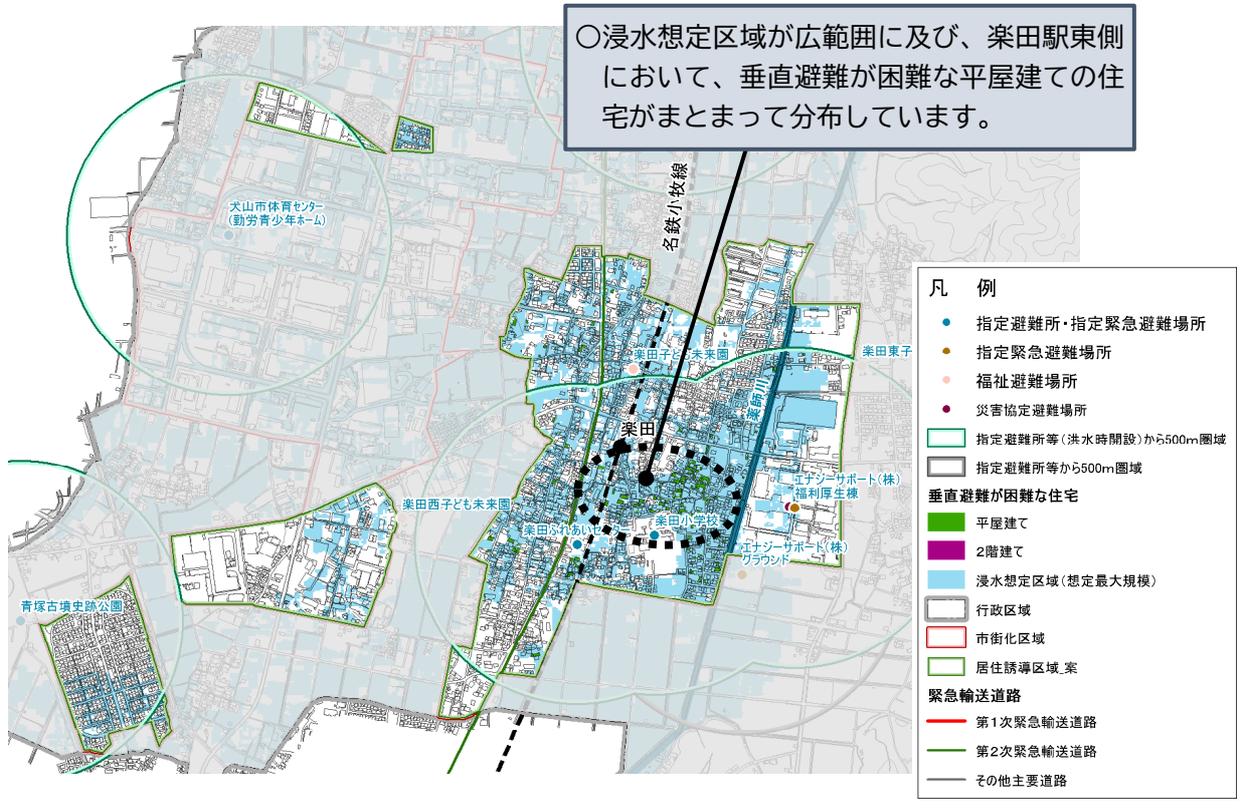


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

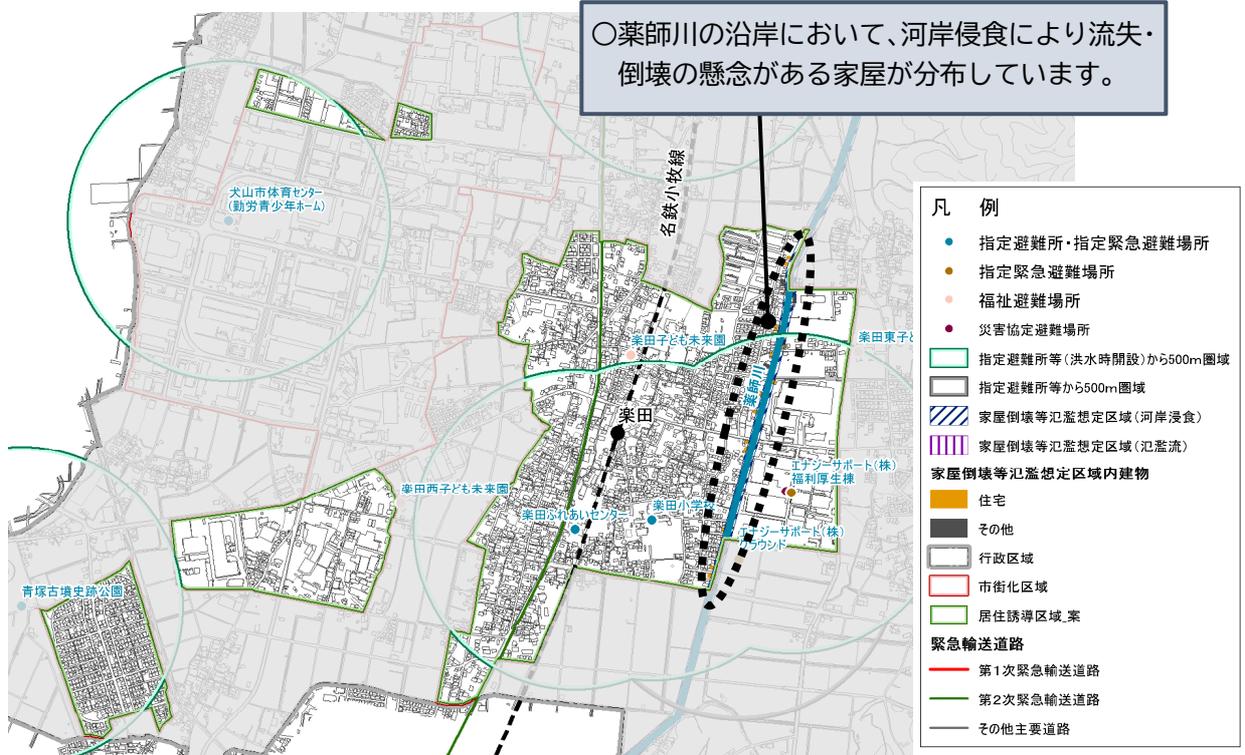


想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）

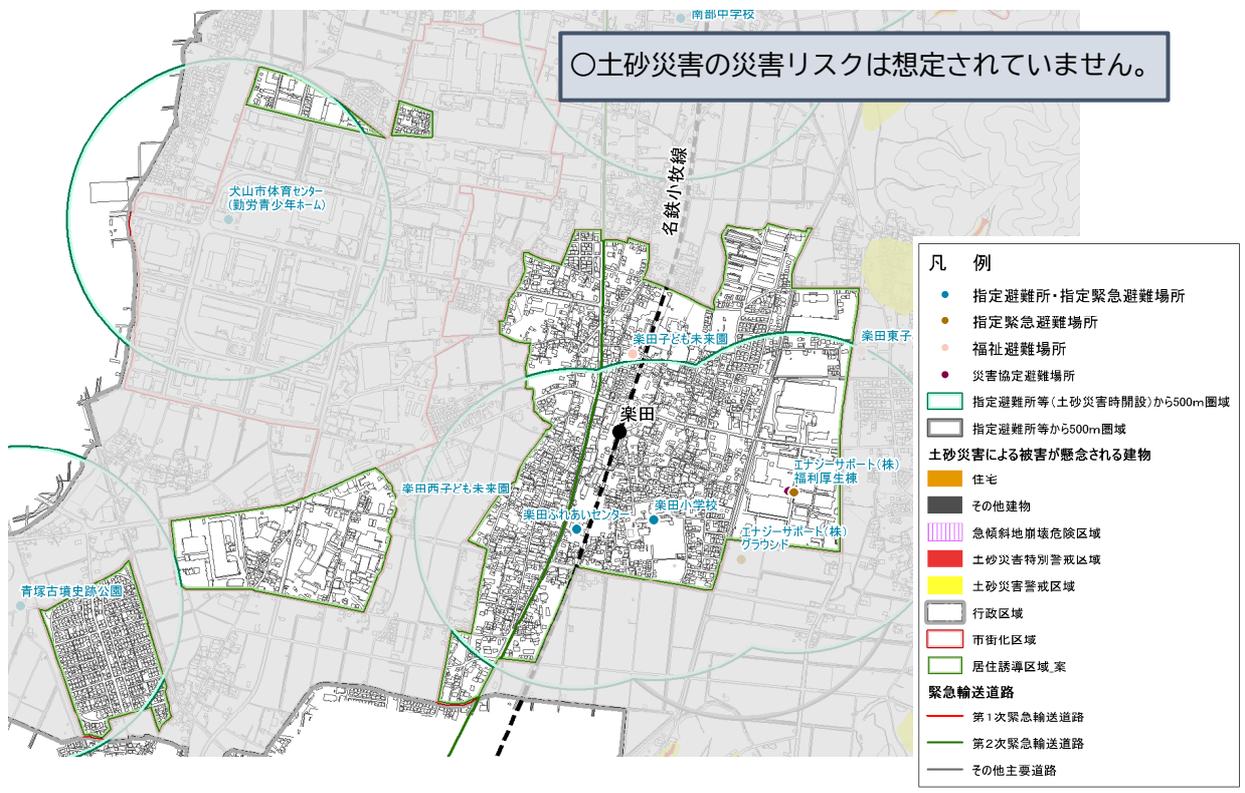


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)



土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

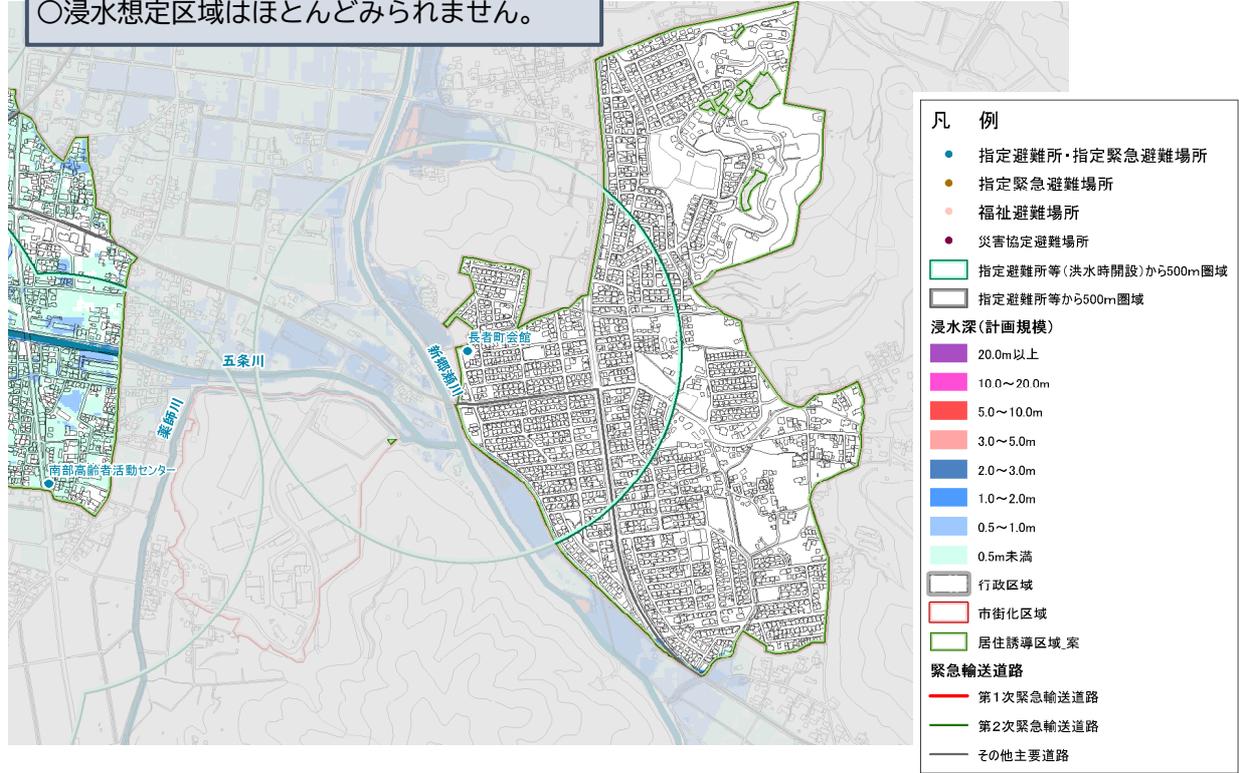


【長者町・緑ヶ丘地区】

災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

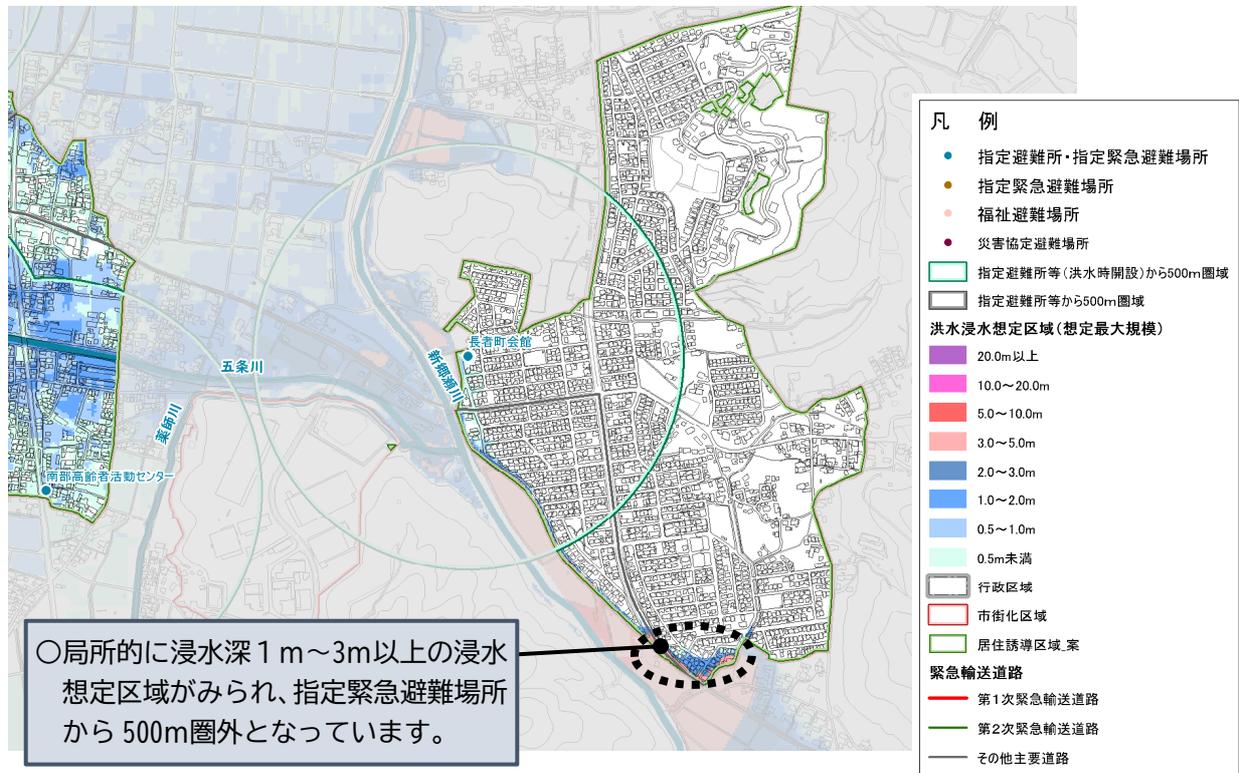
計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○浸水想定区域はほとんどみられません。



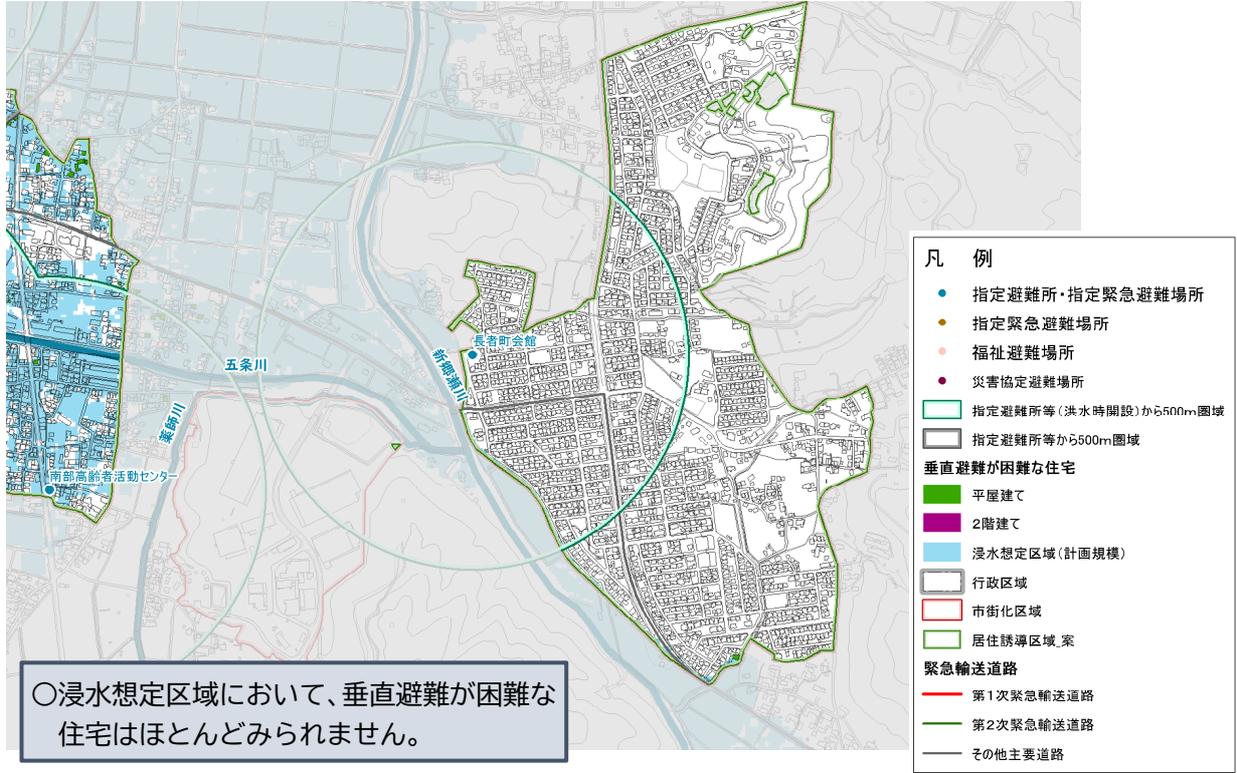
想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 指定緊急避難場所からの距離（居住誘導区域）

○局所的に浸水深 1 m～3m以上の浸水想定区域がみられ、指定緊急避難場所から 500m圏外となっています。

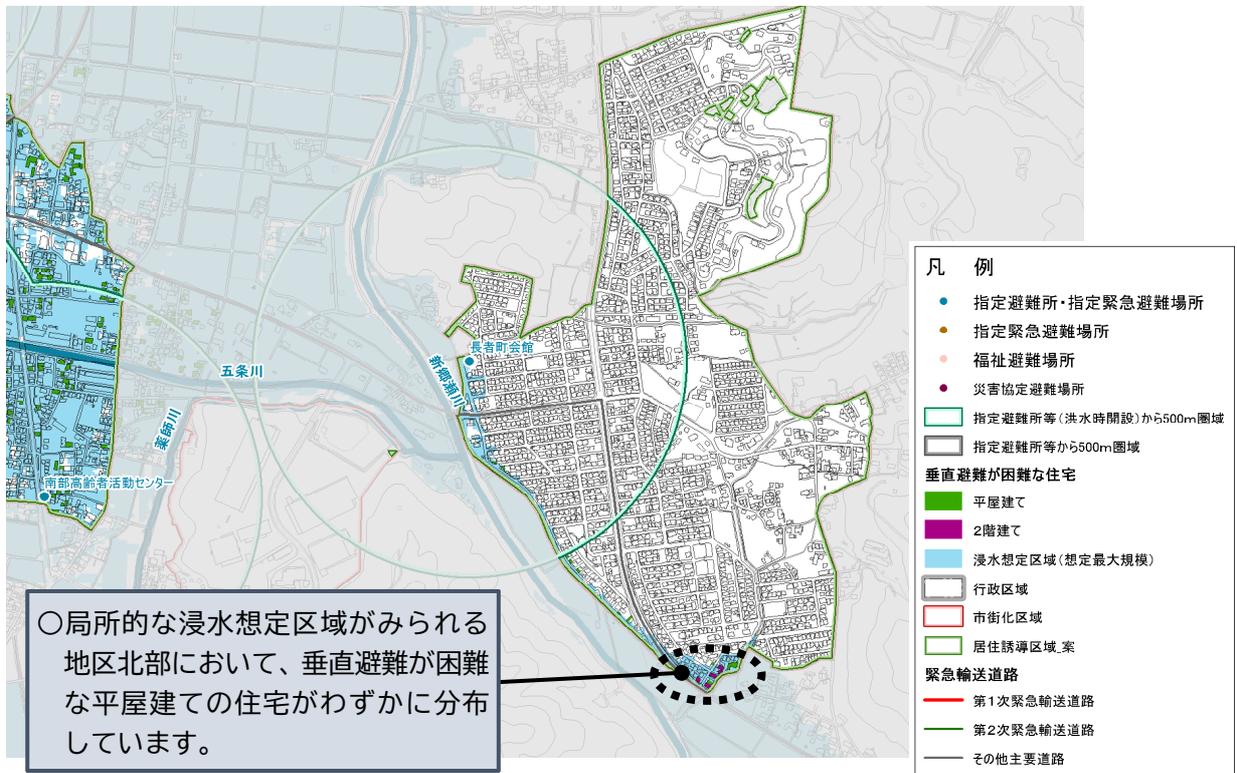


災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

計画規模(L1)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）



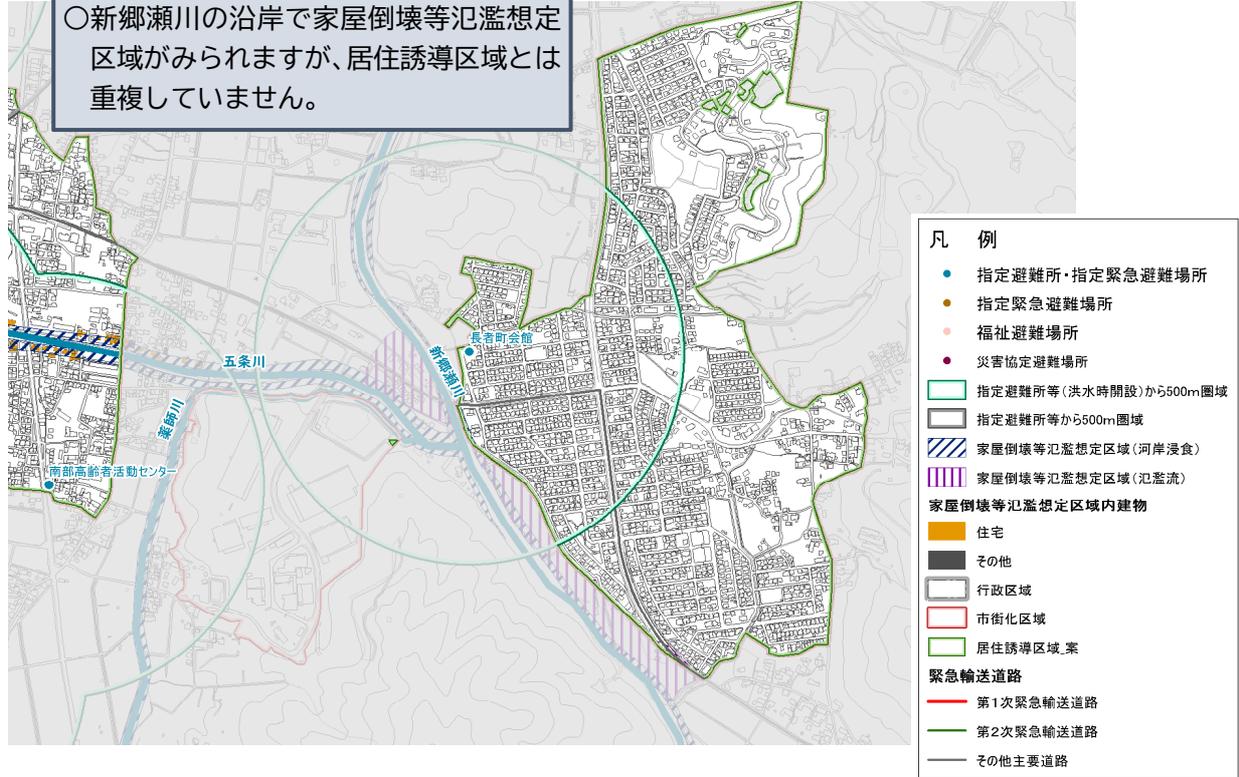
想定最大規模(L2)浸水想定区域（浸水深）× 建物分布（居住誘導区域）



災害ハザードと都市情報の重ね合わせ

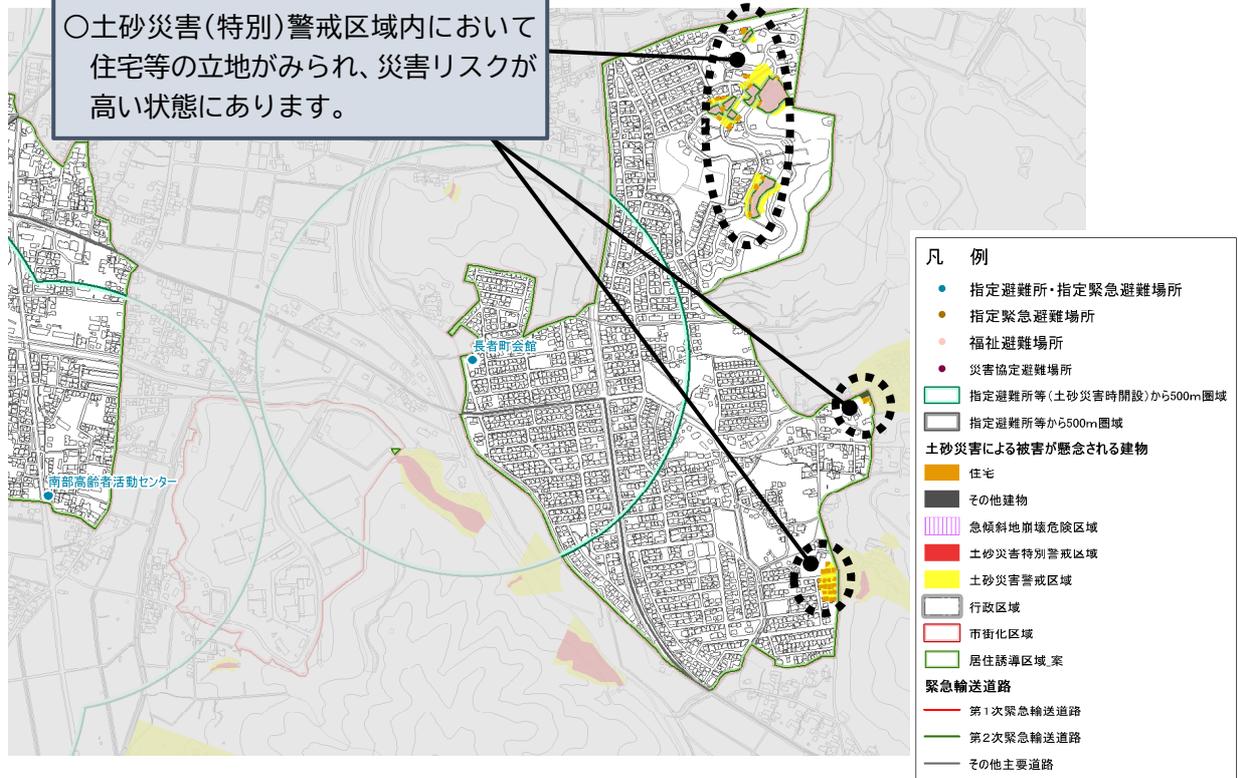
想定最大規模(L2)家屋倒壊等氾濫想定区域 × 建物分布 (居住誘導区域)

○新郷瀬川の沿岸で家屋倒壊等氾濫想定区域がみられますが、居住誘導区域とは重複していません。



土砂災害(特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域) × 建物

○土砂災害(特別)警戒区域内において住宅等の立地がみられ、災害リスクが高い状態にあります。



前回（第6回策定委員会）で提示した「市全体における災害リスクの分析」と今回提示した「居住誘導区域における災害リスクの分析」を整理し、改めて課題の抽出を行うとともに、それらに対応する取り組み、目標等を再検討します。